



~~29~~
~~60~~

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ¹⁸/₇₀ 1 2 3 4 5

始



特110

914



法規



凡例

一、本書中用ヒタル略號左ノ如シ

法 律 ハ
勅 令 ハ
文 部 省 令 ハ
文 部 省 訓 令 ハ
文 部 省 告 示 ハ
熊 本 縣 訓 令 ハ
熊 本 縣 告 示 ハ
小 學 校 令 ハ
小 學 校 令 施 行 規 則 ハ

法・勅・省・省・省・省・縣・縣・令・令・則
法・勅・省・省・省・省・縣・縣・令・令・則
法・勅・省・省・省・省・縣・縣・令・令・則

小學校令施行規程ハ
諸願届様式ハ
様式
二、學第何號トアルハ熊本縣學務課關係ノ通牒ナリ

小學校法規

熊本縣教育會編

地方學事通則 (明治二十三年十月法律第八十九號)

第一條 市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ教育事務ノ爲之ヲ學區ニ分畫スルコトヲ得
市ノ學區ニ關シテハ市制第四百四十五條乃至第四百四十七條及市ノ財產營造物ニ關ス
ル規定ヲ町村ノ學區ニ關シテハ町村制第二百五條乃至第二百二十七條及町村ノ財
產營造物ニ關スル規定ヲ準用ス但シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得
第二條 學區カ市制第六條ノ市ノ區市制第四百四十四條ノ市ノ一部又ハ町村制第二百
十四條ノ町村ノ一部ト區域ヲ同シクスル場合ニ於テ其ノ區又ハ一部ニ區會又ハ區
總會ノ設アルトキハ學區ニ關スル事件ハ其ノ區會又ハ區總會之ヲ議決ス
第三條 學區ニ於テ專ラ使用スル學校幼稚園ニ關スル費用ハ其ノ學區内ニ於テ市稅
町村稅ヲ納ムル義務アル者之ヲ負擔ス財產ヨリ生スル收入又ハ學校幼稚園ニ屬ス
ル收入アルトキハ先ツ其ノ費用ニ充ツヘシ

第四條 學區ヲ廢止セントスル場合ニ於テ學區ノ財産ノ處分ニ付テハ關係アル市町村會及學區ノ區會又ハ區總會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

前項ノ府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ學區ハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得
第五條 市町村又ハ其ノ學區ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ他ノ市町村又ハ學區ノ兒童教育事務ノ委託ニ應スヘシ

前項ノ委託ニ對スル報償其ノ他必要ノ事項ニ付關係市町村又ハ學區ノ協議整ハサルトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム前條第二項ノ規定ハ處分ニ付之ヲ準用ス

第六條 市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ學區ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學務委員ヲ置クコトヲ得

第七條 教育事務ノ爲ニ設クル市町村組合町村組合ハ之ヲ市町村學校組合町村學校組合ト稱ス

市町村學校組合町村學校組合ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得
第八條 本法中市及其ノ學區ニ關スル規定ハ市町村組合及其ノ學區ニ町村及其ノ學區ニ關スル規定ハ町村組合及其ノ學區ニ之ヲ準用ス

第九條 府縣郡ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校圖書館ノ爲基本財産又ハ積立金ヲ設クルコトヲ得

基本財産及積立金ノ管理及處分ハ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 府縣制郡制市制町村制ニ規定シタル内務大臣ノ職務ハ教育ニ關スル事項ニ付テハ内務大臣及文部大臣ニ屬ス

附 則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス

從前ノ規定ニ依リ教育事務ノ爲分畫セラレタル市町村及町村學校組合ノ區ハ本法ニ依ル學區、從前ノ規定ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ本法ニ依ル町村學校組合ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ設ケタル市町村ノ基本財産及積立金ハ市制町村制ニ依リ設ケタルモノト看做ス

小學校令

小學校令目次

第一章	總則	七
第二章	設置	八
第三章	教科及編制	一
第四章	設備	一四
第五章	就學	一四
第六章	職員	一六
第七章	費用負擔及授業料	一八
第八章	管理及監督	二〇
第九章	附則	二一

第一條 小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條 小學校ハ之ヲ分テ尋常小學校及高等小學校トス

尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トナ一校ニ併置スルモノヲ尋常高等小學校トス

市町村、町村組合學校若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ市町村立小學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學校トス

第三條 尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但シ文部大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 町村組合ニシテ其ノ町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ之ヲ一町村ト同視ス

第五條 幼稚園、其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ規定ニ關シテハ本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外文部大臣之ヲ定ム

小學校令

(明治三十三年八月十八日)
勅令第三百四十四號

總則

第一章 總則

第一條 小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條 小學校ハ之ヲ分テ尋常小學校及高等小學校トス

尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トナ一校ニ併置スルモノヲ尋常高等小學校トス

市町村、町村組合學校若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ市町村立小學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學校トス

第三條 尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但シ文部大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 町村組合ニシテ其ノ町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ之ヲ一町村ト同視ス

第五條 幼稚園、其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ規定ニ關シテハ本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外文部大臣之ヲ定ム

第二章 設置

第六條 市町村ハ其ノ區域内ノ學齡兒童ヲ就學セシムルニ足ルヘキ尋常小學校ヲ設置スヘシ

第七條 郡長ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムヘシ

第八條 郡長ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程内ニ於テ一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

一 其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムルコト
二 其ノ町村ヲシテ就學セシムヘキ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコト
郡長ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモ、其ノ町村ノ尋常小學校ニ對シ適度ノ通學路程内ニ在ラスト認メタルトキハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ
郡長ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ニ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ
第八條ノ二 府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スル事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育

事務ヲ市又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市ノ一部ニシテ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程内ニ於テ一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他ノ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

第九條 市立尋常小學校ノ校數並位置ハ府縣知事ニ於テ市ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ
町村立尋常小學校ノ校數並位置ハ郡長ニ於テ町村又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 第七條又ハ第八條ニ依リ郡長ニ於テ町村學校組合ヲ設ケシメントスルトキハ組合規約ヲ設ケ關係町村ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更シ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ組合ヲ解カシメントスルトキ亦同シ

第八條ニ依リ郡長ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメ又ハ其ノ委託ヲ止メシメントスルトキハ關係町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ
第八條ノ二ニ依リ府縣知事ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメ又ハ其ノ委託ヲ止メシメントスルトキハ關係市町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ

程一、
樣式參
照

第十一條 府縣知事ハ市ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ又ハ其ノ設置スヘキ尋常小學校ト兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所トアルトキハ市ヲ分畫シ其ノ一區若ハ數區ニ對シ小學校設置ニ關スル費用ノ負擔又ハ兒童教育事務委託ノ爲其ノ使用スヘキ小學校ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ關係市民及學區ノ意見ヲ聞クヘシ其ノ之ヲ止メントスルトキ亦同シ

郡長ハ町村若ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ、兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所數箇所アルトキ又ハ其ノ設置スヘキ尋常小學校ト兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所トアルトキハ町村若ハ町村學校組合ヲ分畫シ其ノ一區若ハ數區ニ對シ小學校設置ニ關スル費用ノ負擔又ハ兒童教育事務委託ノ爲其ノ使用スヘキ小學校ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ關係町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ止メントスルトキ亦同シ

第十二條 府縣知事ハ第七條及第八條第一項ノ事情アルモ同條及第五十三條並第五十四條第十四條ニ依ルコトヲ得スト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

府縣知事ハ第八條第二項又ハ第三項ノ事情アルモ同條及第五十三條並第五十四條ニ依ルコトヲ得スト認メタルトキハ其ノ町村若ハ町村學校組合ヲシテ其ノ一部ニ關シテハ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

トヲ得

第十三條 削除

第十四條 市町村ハ市町村又ハ其ノ學區ノ負擔ヲ以テ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

市町村又ハ町村ハ其ノ協議ニ依リ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

前項ノ町村學校組合ヲ設ケントスルトキハ組合規約ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更シ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ組合ヲ解カントスルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ郡長府縣知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第十五條 市町村立高等小學校ノ設置及廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 私立小學校ノ設置及廢止ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 前三條ノ規定ハ幼稚園、其ノ他小學校ニ類スル各種學校ニ關シ之ヲ準用ス

幼稚園、其ノ他小學校ニ類スル各種學校ハ之ヲ小學校ニ附設スルコトヲ得

第三章 教科及編制

第十八條 尋常小學校ノ修業年限ハ六箇年トス

教科及編制

程四、
樣式參
照

高等小學校ノ修業年限ハ二箇年トス但シ延長シテ三箇年ト爲スコトヲ得

第十九條 尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖畫、唱歌、體操トシ女子ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

土地ノ情況ニ依リ手工ヲ加フルコトヲ得

第二十條 高等小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、唱歌、體操トシ女兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

前項教科目ノ外、手工、農業、商業、女兒ノ爲ニハ家事ノ一科目又ハ數科目ヲ加フル

土地ノ情況ニ依リ前項教科目ノ外圖畫、外國語其ノ他必要ナル教科目ヲ加フルコトヲ得

前二項ノ教科目ハ之ヲ隨意科目又ハ選擇科目ト爲スコトヲ得

第二十一條 小學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十二條 小學校ノ教科目中兒童身體ノ情況ニ依リ學習スルコト能ハサル教科目ハ之ヲ其ノ兒童ニ課セサルコトヲ得

第二十三條 小學校ノ教科目ヲ加除セントスルコトキハ市町村立小學校ニ在リテハ管理、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

補習科ヲ設置シ若ハ之ヲ廢止シ又ハ高等小學校ノ修業年限ヲ延長セントスルコトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 小學校ノ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノタルヘシ

前項ノ圖書同一ノ教科目ニ關シ數種アルトキハ其ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ採定ス

文部大臣ハ第一項ノ規定ニ拘ラス修身、日本歴史、地理ノ教科用圖書及國語讀本ヲ除キ其ノ他ノ教科用圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定シタルモノニ就キ府縣知事ヲシテ之ヲ採定セシムルコトヲ得

補習科ノ教科用圖書ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十五、六條 削除

第二十七條 小學校ノ休業日ハ日曜日ヲ除クノ外毎年九十日ヲ超ユルコトヲ得ス但シ補習科ハ此ノ限リニ在ラス

特別ノ事情アルトキハ府縣知事ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ日數ヲ増加スルコトヲ得

傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ監督官廳ニ於テ臨時小學校ノ閉鎖ヲ命スヘシ其ノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於

設備

第二十八條 小學校教則及小學校編制ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四章 設備

第二十九條 小學校ニ於テハ校舍、校地、校具及體操場ヲ備フヘシ

第三十條 校舍、校地、校具及體操場ハ非常變災ノ場合ヲ除クノ外小學校ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ教育、兵事、産業、衛生、慈善等ノ目的ノ爲特別ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 小學校ノ設備ニ關スル規定ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事之ヲ定ム

就學

第五章 就學

第三十二條 兒童滿六歳ニ達シタル翌日ヨリ滿十四歳ニ至ル八箇年ヲ以テ學齡トス

尋常小學校ノ教科ヲ修了シタルトキハ以テ就學ノ終期トス

學齡兒童保護者ハ就學ノ始期ヨリ其ノ終期ニ至ル迄學齡兒童ヲ就學セシムルノ義務ヲ負フ學齡兒童保護者ト稱スルハ學齡兒童ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ親權ヲ行フ者ナキトキハ其ノ後見人ヲ謂フ

第三十三條 學齡兒童瘋癲白痴又ハ不具廢疾ノ爲就學スルコト能ハスト認メタルト

キハ市町村長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ學齡兒童保護者ノ義務ヲ免除スルコトヲ得學齡兒童病弱又ハ發育不完全ノ爲就學セシムヘキ時期ニ於テ就學スルコト能ハスト認メタルトキハ市町村長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ就學ヲ猶豫スルコトヲ得市町村長ニ於テ學齡兒童保護者貧窮ノ爲其ノ兒童ヲ就學セシムルコト能ハスト認メタルトキ亦前二項ニ準ス

第三十四條 第十二條ニ依リ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免セラレタル區域内ノ學齡兒童保護者ハ其ノ義務ヲ免除セラレタルモノトス

第三十五條 尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル學齡兒童ヲ雇傭スル者ハ其ノ雇傭ニ依リテ兒童ノ就學ヲ妨グルコトヲ得ス

第三十六條 學齡兒童保護者ハ就學セシムヘキ兒童ヲ市町村立小學校ニ入學セシムヘシ但シ市町村長ノ認可ヲ受ケ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得

官立若ハ府縣立ノ學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分高等學校若ハ中學校ノ豫科又ハ盲學校若ハ聾啞學校ノ初等部ハ兒童就學ニ關シテハ之ヲ市町村立尋常小學校ト同視ス

第三十七條 兒童ノ年齡就學ノ始期ニ達セサル者ハ之ヲ小學校ニ入學セシムルコトヲ得ス

第三十七條 兒童ノ年齡就學ノ始期ニ達セサル者ハ之ヲ小學校ニ入學セシムルコトヲ得ス

第三十八條 小學校長ハ傳染病ニ罹リ若ハ其ノ虞アル兒童又ハ性行不良ニシテ他ノ兒童ノ教育ニ妨アリト認メタル兒童ノ小學校ニ出席スルヲ停止スルコトヲ得

職員

第六章 職員

第三十九條 小學校ノ教科ヲ教授スル者ヲ本科正教員トシ其ノ教科目中唱歌、體操裁縫、並第二十條第二項及第三項ノ教科目ニシテ文部大臣ノ定ムル一科目又ハ數科目ヲ限リ教授スル者ヲ專科正教員トス

本科正教員ヲ補助スル者ヲ准教員トス

第四十條 小學校教員タルヘキ者ハ免許狀ヲ受ケヘシ

免許狀ハ府縣知事之ヲ授與シ全國ニ通シテ有効トス

第四十一條 免許狀ヲ受ケルニハ師範學校若ハ文部大臣ノ指定シタル學校ヲ卒業シ又ハ小學校教員ノ檢定ニ合格スルコトヲ要ス

前項ノ檢定ヲ施行スルカ爲府縣ニ小學校教員檢定委員會ヲ置ク

免許狀及小學校教員檢定委員會ノ組織權限其ノ他檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十二條 特別ノ事情アルトキハ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ小學校准教員ニ代用

スルコトヲ得
代用教員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十三條 市町村立小學校長ハ其ノ學校ノ本科正教員ヲシテ之ヲ兼ネシムヘシ

第四十四條 市立小學校長及教員ノ任用ハ市長又ハ市町村學校組合管理者ノ申請ニ依リ市町村立小學校教員ノ任用ハ郡長ノ申請ニ依リ府縣知事之ヲ行フ

市町村立小學校長及教員ノ解職ハ府縣知事之ヲ行フ

第四十五條 市町村立小學校教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與並其ノ支給方法ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事之ヲ定ム

第四十六條 小學校長及教員ノ進退、職務及服務ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十七條 小學校長及教員ハ教育上必要ト認メタルトキハ兒童ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得但シ體罰ヲ加フルコトヲ得ス

第四十八條 市町村立小學校長及教員職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リタルトキ又ハ職務ノ内外ヲ問ハス體面ヲ汚辱スルノ所爲アリタルトキハ府縣知事ニ於テ懲戒處分ヲ行フ其ノ處分ハ譴責、減俸及免職トス私立小學校長及教員ニシテ前項ニ準スヘキ所爲アリタルトキハ府縣知事ハ其ノ業務ヲ停止ス

第四十九條 小學校教員免許狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ免許狀ハ其ノ効力ヲ失フ

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 二 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

小學校教員免許狀ヲ有スル者不正ノ所爲其ノ他教員タルヘキ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリテ其ノ情狀重シト認メタルトキハ文部大臣又ハ府縣知事ニ於テ其ノ免許狀ヲ褫奪ス

第五十條 府縣知事ニ於テ行ヒタル免職若ハ業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處分ニ不服アル者ハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得

費用負擔及授業料

第七章 費用負擔及授業料

第五十一條 市町村立小學校ノ設置ニ關スル費用ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外市町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔トス其ノ概目左ノ如シ

- 一 設備及其ノ維持ノ費用
- 二 職員ノ俸給、旅費、其ノ他諸給與
- 三 校費

兒童教育事務委託ニ關スル費用ハ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ノ負擔トス

第五十二條 郡長ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ又ハ兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所アルトキハ其ノ學校組合内ノ某町村ヲシテ其ノ數校中ノ一校若ハ數校ノ設置又ハ兒童教育事務委託ニ關スル費用ヲ一町村限リ負擔セシムルコトヲ得

前項ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ止メントスルトキハ關係町村學校組合ノ意見ヲ聞キ府

縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五十三條 郡長ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリト認メタルトキハ郡ハ町村又ハ町村學校組合ニ相當ノ補助ヲ與フヘシ

- 一 町村ニシテ第七條ノ事情アルモ同條ニ依ルコトヲ得サルトキ
- 二 町村學校組合ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ又ハ町村學校組合ノ一部タル町村ノ資力其ノ學校組合ノ負擔ニ堪ヘサルトキ
- 三 町村又ハ町村學校組合ノ資力兒童教育事務委託ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ

前項ノ認定ニ付テハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第五十四條 府縣知事ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリト認メタルトキハ府縣ハ郡又ハ市ニ相當ノ補助ヲ與フヘシ

- 一 郡ノ資力第五十三條ノ補助ノ負擔ニ堪ヘサルトキ
 - 二 市ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ
- 前項ノ認定ニ付テハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ聞キ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第五十五條 區長及其ノ代理者並學務委員ニ於テ國ノ教育事務ヲ執行スル爲ニ要スル費用ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ負擔トス但シ區長及其ノ代

管理及監督

理者或學區ノ學務委員ニ關スル費用ハ市町村會又ハ町村學校組合會ノ議決ヲ以テ之ヲ學區ノ負擔トナスコトヲ得

第五十六條 小學校教員檢定及免許狀ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス

第五十七條 市町村立尋常小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得ス但シ補習科ハ此ノ限ニ在ラス特別ノ事情アルトキハ府縣知事ノ認可ヲ受ケ市町村立尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第五十八條 市町村立小學校ノ授業料ハ市町村、町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ收入トス

第八章 管理及監督

第六十條 市町村長市町村學校管理者又ハ町村學校組合管理者ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ屬スル國ノ教育事務ヲ掌管シ市町村立小學校ヲ管理ス

第六十一條 府縣知事ハ市町村又ハ町村學校組合ノ區長及其ノ代理者ヲシテ市町村長又ハ町村學校組合管理者ノ指揮命令ヲ受ケテ學區ニ屬スル國ノ教育事務ヲ補助執行セシムルコトヲ得

第六十二條 市町村ハ教育事務ノ爲市制第八十三條町村制第六十九條ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ但シ市會町村會ノ議決ニ依ルノ限ニ在ラス

市町村學校組合又ハ町村學校組合ハ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ學務委員ヲ置クコトヲ得

市町村又ハ町村學校組合ハ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ其ノ學區ニ學務委員ヲ置クコトヲ得

學務委員ニハ市町村立小學校男教員ヲ加フヘシ
委員中教員ヨリ出ツル者ハ市町村長市町村學校組合管理者又ハ町村學校組合管理者之ヲ任免ス

第六十三條 學務委員ノ職務其ノ他學務委員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六十四條 市町村吏員ニ對スル懲戒處分ニシテ國ノ教育事務取扱ニ關スルモノニ就キテハ市制第七十條町村制第五十條ノ規定ニ依ル

第六十五條 市立小學校長及教員ノ執行スル國ノ教育事務ハ府縣知事之ヲ監督シ町村立小學校長及教員ノ執行スル國ノ教育事務ハ郡長之ヲ監督ス

第六十六條 私立小學校ニシテ市内ニ在ルモノハ府縣知事之ヲ監督シ町村内ニ在ルモノハ郡長之ヲ監督ス

第九章 附則

第六十七條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ小學校ノ教科目並教則及授業料ノ徵收ニ關シテハ明治三十四年三月三十一日ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依

ル

第六十八條 本令ハ市町村制ヲ施行シタル地ニ之ヲ施行ス

第六十九條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三十三條ニ依リ設ケタル町

村學校組合ハ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄之ヲ存續スルコトヲ得

第七十條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條及第四條ニ依リ小學校ニ

於テ加設シタル教科目申本令ノ規定ニ抵觸スルモノ又ハ同令第六條ニ依リ高等小

學校ニ於テ專修科ヲ置キタルモノハ明治三十三年九月一日ニ於テ現ニ學習スル兒

童ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條ニ依リ體操科ヲ闕ケル尋常小學校

ニ於テハ明治三十六年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第七十條ノ二 削除

第七十一條 既設ノ尋常小學校ニシテ體操場ノ設備ナキモノハ明治三十八年三月三

十一日迄其ノ設備ヲ猶豫ス

前項ノ場合ニ於テハ猶豫ノ期間内體操科ヲ闕クコトヲ得

七十二條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀ハ本令施行後仍其ノ効力ヲ

有ス但シ小學校專科准教員ノ免許狀ハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條 明治二十六年勅令第四百四號及明治三十年勅令第三百十六號ハ之ヲ廢止

ス

明治二十六年勅令第三十四號及明治三十年勅令第四百七號ハ明治三十四年四月一

日ヨリ之ヲ廢止ス

小學校令施行規則

小學校令施行規則目次

第一章	教科及編制	二七
第一節	教則	二七
第二節	學年、休業日及式日	三七
第三節	編制	三七
第四節	補習科	三九
第五節	教科用圖書	四一
第二章	設備準則	四二
第三章	就學	四四
第四章	教員檢定及免許狀	四五
第一節	教員ノ檢定	四九
第二節	教員ノ免許狀	四九
第五章	職員	五七

第一節	學校長及教員ノ進退……………	五七
第二節	學校長及教員ノ職務及服務……………	六〇
第三節	懲戒處分、業務停止及免許狀褫奪……………	六一
第四節	俸給、旅費及諸給與準則……………	六二
第五節	代用教員……………	六五
第六章	授業料……………	六六
第七章	學務委員……………	六七
第八章	削除……………	六八
第九章	幼稚園及小學校ニ類スル各種學校……………	六八
第十章	附則……………	七〇

教科及編
制
教則

小學校令施行規則

(明治三十三年八月二十
一日文部省令第十四號)

第一章 教科及編制

第一節 教則

第一條 小學校ニ於テハ小學校令第一條ノ旨趣ヲ遵守シテ兒童ヲ教育スヘシ
 道德教育及國民教育ニ關聯セル事項ハ何レノ教科目ニ於テモ留意シテ教授センコ
 トヲ要ス
 知識技能ハ常ニ生活ニ必須ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ教授シ反覆練習シテ應用自在ナ
 ラシメンコトヲ務ムヘシ
 兒童ノ身體ヲ健全ニ發達セシメンコトヲ期シ何レノ教科目ニ於テモ其ノ教授ハ兒
 童ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメンコトヲ要ス
 男女ノ特性及其ノ將來ノ生活ニ注意シテ各々適當ノ教育ヲ施サンコトヲ務ムヘシ
 各教科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ
 要ス
 第二條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キテ兒童ノ徳性ヲ涵養シ道德ノ實踐ヲ
 指導スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ孝悌、親愛、勤儉、恭敬、信實、義勇等ニ就キ實踐ニ適切ナル近易ノ事項ヲ授ケ漸ク進ミテハ國家及社會ニ對スル責務ノ一斑ニ及ホシ以テ品位ヲ高メ志操ヲ固クシ且進取ノ氣象ヲ長シ公德ヲ尙ハシメ忠君愛國ノ志氣ヲ養ハンコトヲ務ムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ一層陶冶ノ功ヲ堅實ナラシメンコトヲ務ムヘシ

女兒ニ在リテハ特ニ貞淑ノ德ヲ養ハンコトニ注意スヘシ
修身ヲ授クルニハ嘉言善行及諺辭等ニ基キテ勸戒シ常ニ之ヲ服膺セシメンコトヲ務ムヘシ

第三條 國語ハ普通ノ言語、日常須知ノ文字及文章ヲ知ラシメ正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養ヒ兼テ智徳ヲ啓發スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ發音ヲ正シ假名ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ知ラシメ漸ク進ミテハ日常須知ノ文字及普通文ニ及ホシ又言語ヲ練習セシムヘシ

高等小學校ニ於テハ稍々進ミタル程度ニ於テ日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ授ケ又言語ヲ練習セシムヘシ

讀ミ方、書キ方、綴リ方ハ各々其ノ主トスル所ニ依リ教授時間ヲ區別スルコトヲ得ルモ特ニ注意シテ相聯絡セシメンコトヲ要ス

讀本ノ文章ハ平易ニシテ國語ノ模範ト爲リ且兒童ノ心情ヲ快活純正ナラシムルモノナルヲ要シ其ノ材料ハ修身、歴史、地理、理科其ノ他生活ニ必須ナル事項ニ取リ趣味ニ富ムモノタルヘシ

女兒ノ學級ニ用フル讀本ニハ特ニ家事上ノ事項ヲ交フヘシ

文章ノ綴リ方ハ讀ミ方又ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項兒童ノ日常見聞セル事項及處世ニ必須ナル事項ヲ記述セシメ行文ハ平易ニシテ旨趣明瞭ナランコトヲ要ス

書方ニ用フル漢字ノ書體ハ尋常小學校ニ於テハ楷書行書ノ二種トシ高等小學校ニ於テハ尙草書ヲ加フ

國語ヲ授クル際ニハ語句文章ノ意義ヲ明瞭ニシ且其ノ用法ニ習熟セシメンコトヲ務ムヘシ

他ノ教科目ヲ授クル際ニ於テモ常ニ言語ノ練習及文字ノ書キ方ニ注意セシメンコトヲ要ス

第四條 算術ハ日常ノ計算ニ習熟セシメ生活上必要ナル知識ヲ與ヘ兼テ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ十以下ノ數ノ範圍内ニ於ケル數ヘ方、書キ方及加減乗除ヲ授ケ漸ク其ノ範圍ヲ擴メテ百以下ノ數ニ及ホシ更ニ進ミテ通常ノ加減乗除並ニ小數、諸等數及簡易ナル分數、歩合算ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ分數、歩合算ヲ授ケ比例ニ及ホシ學校ノ修業年限ニ應シ更ニ求積ヲ授ケ又土地ノ情況ニ依リテハ日用簿記ノ大要ヲ授クヘシ

算術ハ筆算ヲ用フヘシ土地ノ情況ニ依リテハ珠算ヲ併セ用フルコトヲ得

算術ヲ授クルニハ理會ヲ精確ニシ運算ニ習熟シテ應用自在ナラシメンコトヲ務メ又運算ノ方法及理由ヲ正確ニ説明セシメ且暗算ニ習熟セシメンコトヲ要ス

算術ノ問題ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項及土地ノ情況ヲ斟酌シテ日常適切ナルモノヲ選フヘシ

第五條 日本歴史ハ國體ノ大要ヲ知ラシメ兼テ國民タルノ志操ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ建國ノ體制、皇統ノ無窮、歷代天皇ノ盛業、忠良賢哲ノ事蹟國民ノ武勇、文化ノ由來、外國トノ關係等ノ大要ヲ授ケ以テ國初ヨリ現時ニ至ルマテノ事歴ヲ知ラシムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ稍詳ニ我國發達ノ蹟ヲ知ラシムヘシ

日本歴史ヲ授クルニハ成ルヘク圖畫、地圖、標本等ヲ示シ兒童ヲシテ當時ノ實狀

ヲ想像シ易カラシメ特ニ修身ノ教授事項ト聯絡セシメンコトヲ要ス

第六條 地理ハ地球ノ表面及人類生活ノ狀態ニ關スル知識ノ一斑ヲ得シメ又本邦國勢ノ大要ヲ理會セシメ兼テ愛國心ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ本邦ノ地勢、氣候、區劃、都會、產物、交通等並ニ地球ノ形狀、運動等ノ大要ヲ理會セシメ且滿洲地理ノ大要ヲ授ケ兼テ本邦トノ關係ニ於テ重大ナル諸國ノ地理ニ關スル簡單ナル知識ヲ得シムヘシ

高等小學校ニ於テハ各大洲ノ地勢、氣候、區劃、交通等ノ概略ヨリ進ミテ本邦トノ關係ニ於テ重大ナル諸國ノ地理ノ大要及本邦ノ政治經濟上ノ狀態並ニ外國ニ對スル地位等ノ大要ヲ知ラシメ又地文ノ一斑ヲ授クヘシ

地理ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ又地球儀、地圖、標本、寫眞等ヲ示シテ確實ナル知識ヲ得シメ特ニ歴史及理科ノ教授事項ト聯絡セシメンコトヲ要ス

第七條 理科ハ通常ノ天然物及自然現象ニ關スル知識ノ一斑ヲ得シメ其ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシメ兼テ觀察ヲ精密ニシ自然ヲ愛スルノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ植物、動物、礦物、及自然ノ現象ニ就キ主トシテ兒童ノ目撃シ得ル事項ヲ授ケ特ニ重要ナル植物、動物、礦物ノ名稱、形狀、効用及發育ノ大要ヲ知ラシメ又通常ノ物理化學上ノ現象及人身生理ノ初步ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ特ニ重要ナル元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身ノ生理衛生ノ大要ヲ授ケ兼テ植物、動物、礦物

ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシムヘシ理科ニ於テハ務メテ農事、水産、工業、家事等ニ適切ナル事項ヲ授ケ特ニ植物、動物等ニ就テ教授スル際ニハ之ヲ以テ製スル重要加工品ノ製法、効用等ノ概略ヲ知ラシムヘシ理科ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ若ハ標本、模型、圖畫等ヲ示シ又簡單ナル實驗ヲ施シ明瞭ニ理會セシメンコトヲ要ス

第八條 圖畫ハ通常ノ形體ヲ看取シ正シク之ヲ畫クノ能ヲ得シメ兼テ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ單形ヨリ始メ漸ク簡單ナル形體ニ及ホシ實物若ハ手本ニ就キ又時々自己ノ工夫ヲ以テ畫カシムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ諸般ノ形體ヲ畫カシムヘシ土地ノ狀況ニ依リテハ簡易ナル幾何畫ヲ授クルコトヲ得

圖畫ヲ授クルニハ成ルヘク他ノ教科目ニ於テ授ケタル物體及兒童ノ日常目撃セル物體中ニ就キテ之ヲ畫カシメ兼テ清潔ヲ好ミ綿密ヲ尙フノ習慣ヲ養ハシムコトニ注意スヘシ

第九條 唱歌ハ平易ナル歌曲ヲ唱フルコトヲ得シメ兼テ美感ヲ養ヒ徳性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ平易ナル單音唱歌ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メテ授クヘシ又便宜簡易ナル複音唱歌ヲ授クルコトヲ得

第十條 體操ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメ四肢ノ動作ヲ機敏ナラシメ以テ全身ノ健康ヲ保護増進シ精神ヲ快活ニシテ剛毅ナラシメ兼テ規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ體操、教練及遊戯ニ就キ簡易ナル動作ヨリ始メ漸ク其ノ程度ヲ進メテ之ヲ授クヘシ又男兒及女兒ノ別ニ依リ其ノ授クヘキ事項ヲ斟酌スヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ一層其ノ程度ヲ進メテ之ヲ授クヘシ土地ノ情況ニ依リ體操ノ教授時間ノ一部若ハ教授時間ノ外ニ於テ適宜ノ戶外運動ヲ爲サシメ又ハ水泳ヲ授クルコトアルヘシ

體操ノ教授ニ依リテ習成シタル姿勢ハ常ニ之ヲ保タシメンコトヲ務ムヘシ

第十一條 裁縫ハ通常衣類ノ縫ヒ方及裁キ方等ニ習熟セシ兼テ節約利用ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ運針法ヨリ始メ漸ク通常ノ衣類ノ縫ヒ方ヲ授ケ又便宜裁キ方縫ヒ方等ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ初ハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁

チ方、繕ヒ方ヲ授クヘシ
裁縫ハ其ノ材料ヲ日常所用ノモノニ取り之ヲ授クル際用具ノ使用方、材料ノ品類
性質及衣類ノ保存方、洗濯方等ヲ教示スヘシ

第十二條 手工ハ簡易ナル物品ヲ製作スルノ能ヲ得シメ工業ノ趣味ヲ長シ勤勞ヲ好
ムノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

手工ハ紙、絲、粘土、麥稈、木、竹、金屬等其ノ土地ニ適切ナル材料ヲ用ヒテ簡
易ナル製作ヲ爲サシメ高等小學校ニ於テハ簡易ナル製圖ヲ併セ授クヘシ

第十三條 農業ハ農業ニ關スル普通ノ知識ヲ得シメ農業ノ趣味ヲ長シ勤勉利用ノ心
ヲ養フヲ以テ要旨トス

農業ハ土地ノ情況ニ依リ農事若ハ水産ヲ授ケ又ハ農事、水産ヲ併セ授クヘシ
農事ハ土壤、水利、肥料、農具、耕耘、栽培、養蠶、養畜等ニ就キ土地ノ情況ニ
適切ニシテ兒童ノ理會シ易キ事項ヲ授クヘシ

水産ハ漁撈、養殖、製造等ニ就キ其ノ土地ノ業務ニ適切ナルモノヲ授クヘシ
農業ヲ授クルニハ特ニ地理、理科等ノ教授事項ト關聯シ時々其ノ土地實際ノ業務
ニ就キテ示教シ其ノ知識ヲ確實ナラシメントト務ムヘシ

第十四條 商業ハ商業ニ關スル普通ノ知識ヲ得シメ勤勉敏捷ニシテ且信用ヲ重スル

ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

商業ハ學校所在ノ地方ニ於ケル賣買、金融、運論、保險其ノ他商業ニ關スル重要
ナル事項ニシテ兒童ノ理會シ易キモノヲ選ヒ國語、算術、地理、理科等ノ教授事
項ト關聯シテ之ヲ授ケ且簡易ナル商用簿記ヲ授クヘシ

第十五條 家事ハ家事ニ關スル普通ノ知識ヲ得シメ家事ノ趣味ヲ長シ兼テ節約、利
用、秩序、清潔ノ習慣ヲ養フヲ以テ本旨トス

家事ハ衣食住、看病、育兒其ノ他一家ノ經濟等ニ關スル事項ノ大要ヲ授クヘシ家
事ヲ授クルニハ特ニ理科トノ聯絡ニ注意シ又實習ニ重キヲ置キ土地ノ情況ニ適切
ナラシメントト務ムヘシ

第十六條 外國語ハ日常簡易ノ英語ヲ習得セシムルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音綴字ヨリ始メ簡易ナル文章ノ讀ミ方、話シ方、綴リ方、書キ方ヲ授
クヘシ

外國語ヲ授クルニハ成ルヘク日常ノ生活ニ關聯セシメテ其ノ理解ヲ容易ニシ練習
ニ重キヲ置クヘシ

第十七條 尋常小學校各學年ノ教授ノ程度及每週教授時數ハ第四號表ニ依ルヘシ
手工ヲ加フルトキ又ハ第一學年、第二學年ニ於テ圖畫ヲ課スルトキハ其ノ每週教
授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ノ每週教授時數ヲ減シ之ニ充ツヘシ

唱歌ヲ闕ク時ハ其ノ毎週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得
第十八條 高等小學校各學年ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ第五號表又ハ第六號表
ニ依ルヘシ

第十八條ノ二 第三十四條ノ規程ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ教科目ノ毎週
教授時數ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケヘシ
第十九條 土地ノ情況ニ依リ管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ左ノ制
限内ニ於テ第十七條及第十八條ノ規定ニ依ル時數ヲ増減スルコトヲ得

一、尋常小學校ノ毎週教授時數ハ三十時ヲ超エ又ハ十八時ヲ下ルコトヲ得ス
二、高等小學校ノ毎週教授時數ハ三十二時ヲ超エ又ハ二十四時ヲ下ルコトヲ得ス
第三十四條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ毎週教授時數ハ各部十八時
以上トス但シ尋常小學校ニ於ケル年少ノ部ニ在リテハ之ヲ十二時マテニ減スルコ
トヲ得

第二十條 學校長ハ夏季冬季休業日ノ前後各二十日以内ニ於テ毎日ノ教授時數ヲ減
スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ教授時數ヲ減スルトキハ學校長ニ於テ便宜各教科目ノ毎週教授
時數ヲ斟酌スヘシ

第二十一條 尋常小學校若ハ高等小學校ニ於テ數學年ノ兒童チ一學級ニ編制セル時

程一ニ
照樣式參

學年休業
日及式日

ハ各學年ノ程度ニ拘ラス全部又ハ一部ノ兒童チ同一ノ程度ニ依リ教授スルコトヲ
得

第二十二條 學校長ハ其ノ小學校ニ於テ教授スヘキ各教科目ノ教授細目ヲ定ムヘシ
第二十三條 小學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了若ハ全教科ノ卒業ヲ認ムルニハ別ニ
試験ヲ用フルコトナク兒童平素ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

第二十四條 學校長ハ修業年限ノ終ニ於テ尋常小學校若ハ高等小學校ノ教授ヲ修了
セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ
學校長ハ學年末ニ於テ各學年ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書、第二
十一條ノ規定ニ依リ一學年間學習セシ者ニハ學習證書ヲ與フルコトヲ得

第二節 學年 休業日及式日

第二十五條 小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

小學校ノ學期ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

前項ニ依ル學年ノ外土地ノ情況ニ依リ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學
年ヲ置クコトヲ得

第二十六條 毎日ノ教授終始ノ時刻ハ學校長之ヲ定ムヘシ

第二十七條 小學校ノ休業日ハ左ノ如シ但シ第三號乃至第六號ノ休業日ハ學年ニ依
リ之ヲ異ニスルコトヲ得

- 一 祝日、大祭日
 - 二 日曜日
 - 三 夏季休業日
 - 四 冬季休業日
 - 五 學年末休業日
 - 六 其ノ他府縣知事ノ定ムル休業日
- 前項第三號乃至第五號ノ休業日數ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ
- 第二十八條 紀元節、天長節祝日及一月一日ニ於テハ職員及兒童、學校ニ參集シテ左ノ式ヲ行フヘシ

- 一 職員及兒童「君カ代」ヲ合唱ス
- 二 職員及兒童ハ

天皇陛下

皇后陛下ノ御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

- 三 學校長ハ教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

- 四 學校長ハ教育ニ關スル勅語ニ基キ聖旨ノ在ル所ヲ誨告ス

- 五 職員及兒童ハ其ノ祝日ニ相當スル唱歌ヲ合唱ス

御影ヲ拜戴セサル學校及特ニ府縣知事ノ認可ヲ受ケ覆寫シタル御影若ハ府縣知事

編制

ニ於テ適當ト認メタル御影ヲ奉戴セサル學校ニ於テハ前項第二號ノ式ヲ關ク又唱歌ヲ課セサル學校ニ於テハ第一號及第五號ノ式ヲ關クコトヲ得

第三節 編制

第二十九條 小學校ノ學級數ハ十八學級以下トス

特別ノ事情アルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

特別ノ事情ニ依リ小學校ニ於テ分教場ヲ設クルトハ一分教場ノ學級數ハ六學級以下トシ第一項ノ制限外ト爲スコトヲ得

第三十條 一學級ノ兒童數ハ尋常小學校ニ在リテハ七十人以下高等小學校ニ在リテハ六十人以下トス

特別ノ事情アルトキハ前項ノ制限ヲ超過シテ各々十人マテヲ増スコトヲ得

第三十一條 尋常小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ同一學年ノ女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ該學年ノ學級ヲ別ツヘシ

第一學年及第二學年ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

高等小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ全校女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ學級ヲ別ツヘシ

特別ノ事情アルトキハ第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得
第三十二條 削除

第三十三條 修身、體操、唱歌、裁縫、手工、農業、商業及小學校令第二十條第三項ニ依リ加ヘタル教科目ハ數學級ノ全部ノ兒童ヲ合セテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得但シ裁縫、手工、農業、商業ニ就キテハ兒童ノ數七十人ヲ超エサル場合ニ限ル

第三十四條 土地ノ情況ニ依リ小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ全部若ハ一部ノ兒童ヲ前後二部ニ分チテ教授スルコトヲ得

第三十五條 小學校ニ於テハ各學級ニ本科正教員一人ヲ置クヘシ
土地ノ情況ニ依リ二學級毎ニ本科正教員一人及准教員一人又ハ三學級毎ニ本科正教員二人ヲ置クコトヲ得

特別ノ事情アルトキハ第二項ノ規定ニ依ル外尙准教員ヲ置キ兒童ノ教授ヲ補助セシムルコトヲ得

前條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ前後二學級毎ニ本科正教員一人ヲ置クヲ常例トス

第三十六條 六學級以上ノ小學校ニ於テハ學校長ノ擔任スル教授ヲ補助スル爲正教員一人若ハ准教員一人ヲ置クコトヲ得

第三十七條 小學校ニ於テハ適宜專科教員ヲ置クコトヲ得

第三十八條 補習科ノ學級數ハ第二十九條ニ規定シタル學級數ノ制限外トス但シ其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニアラス

第三十九條 全校兒童ヲ一學級ニ編制スル學校ヲ單級小學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級小學校トス

第四十條 削除

第四十一條 小學校ノ學級ヲ編制シ又ハ變更シタルトキハ遲滯ナク管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事ニ届出ツヘシ

第四節 補習科

第四十二條 補習科ハ分テ尋常小學校補習科及高等小學校補習科トス

尋常小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ尋常小學校ノ教科目ヲ補習セシムルヲ以テ目的トス

高等小學校補習科ハ高等小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ高等小學校ノ教科目ヲ補習セシムルヲ以テ目的トス

第四十三條 補習科ノ教科目ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ
前項ノ規定ニ依リ定メタル教科目ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得

補習科

第四十四條 補習科ノ教科用圖書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十五條 補習科ノ教科ヲ授クルニハ其ノ土地ノ業務ニ適切ナル事項ヲ交フヘシ

第四十六條 補習科ノ修業年限ハ二個年以下トシ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十七條 補習科ノ教授ハ一定ノ季節ヲ選ヒテ之ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 補習科ノ教授日數、教授時間及每週教授時數ハ兒童ノ便宜ヲ圖リ管理

者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十九條 高等小學校補習科ノ學級ハ男女ヲ合シテ之ヲ編制スルコトヲ得ス但シ

其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニアラス

第五十條 補習科ノ教場ハ正教科ヲ授クル校舍外ニ之ヲ設クルコトヲ得

第五十一條 補習科ノ教授ハ正教科ヲ教授スル教員又ハ代用教員ニ於テ之ヲ擔任ス

ヘシ

補習科ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ前項ノ規定ヲ適用セス

特別ノ事情アルトキハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五十二條 第四十三條第一項、第四十四條第四十六條及第四十八條ノ場合ニ於テ

ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五節 教科用圖書

教科用圖書

第五節 教科用圖書

第五十三條 小學校教科用圖書中修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、家事

圖書ヲ除キ其ノ他ノ圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢

定ヲ經タルモノニ就キ府縣知事ノ採定ス但シ體操、裁縫、手工、及尋常小學校

第四學年以下ノ唱歌ニ關シテハ兒童ニ使用セシムヘキ圖書ヲ採定スルコトヲ得ス

又國語書キ方、算術、理科、圖書ノ教科用圖書及小學地理附圖ハ學校長ニ於テ之

ヲ兒童ニ使用セシメサルコトヲ得

第五十四條 小學校令第二十四條第二項又ハ前條ニ依リ教科用圖書ヲ採定シタルト

キハ之ヲ使用セントスル學年ノ開始ヨリ九十日前ニ其ノ旨ヲ公布スヘシ

特別ノ事情アルトキハ前項ノ公布期限ニ依ラサルコトヲ得

第五十五條 文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書ノ定價ヲ增加シタルトキハ

其ノ採定ノ効力ヲ失フ

第五十六條 小學校教科用圖書ハ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經ルニアラサレハ之ヲ

變更スルコトヲ得ス

小學校教科用圖書ヲ變更シタル場合ニ於テハ其ノ圖書ハ最下學年ノ兒童ヨリ用ヒ

シメ他ノ兒童ニハ從來ノ圖書ヲ製用セシムヘシ

特別ノ事情アルトキハ府縣知事ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケテ第二項ノ規定ニ依ラサ

ルコトヲ得

第五十七條 小學校教科圖書ノ採定ニ關シ其ノ前後ヲ間ハス左ノ各號ノ一ニ該當

スル所爲アル者ハ三箇月以下ノ禁錮又ハ百圓以内ノ罰金ニ處ス

一 直接又ハ間接ニ金錢物品手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ官吏、學校職員

若ハ運動者ニ供與シ又ハ供與セントナ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承

諾セントナ周旋勸誘シタル者並ニ供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二 直接又ハ間接ニ酒食遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ

又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ休泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受

ケタル者並ニ此等ノ約束ヲ受ケタル者

三 官吏、學校職員又ハ其ノ關係アル學校法人等ニ對スル利害ノ關係ヲ利用シ直

接若ハ間接ニ官吏、學校職員ヲ誘導シ又ハ威逼シタル者及其ノ誘導威逼ニ應

シタル者

四 官吏又ハ學校職員ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五 採定ヲ妨クル目的ヲ以テ新聞雜誌張札其ノ他ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス官吏

又ハ學校職員ニ對シ虛偽ノ事項ヲ流布シタル者

第二十一條 設備準則

第六十四條 校地、校舍、體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルヲ要ス

就學

第二章 就學

校地ハ道德上並ニ衛生上害ナク且兒童ノ通學ニ便利ナル所ヲ選フヘシ
校舍ハ教授上管理上並ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス

第六十五條 以下第七十四條マテ削除

第七十五條 土地ノ情況ニ依リ成ルヘク教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第七十六條 校舍ヲ新築、増築、改築シ若ハ市町村立高等小學校及私立小學校ノ校

地ヲ選定又ハ變更セントスルトキハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ

設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七十七條 以下第七十九條マテ削除

第八十條 市町村長ハ其ノ市町村内ニ居住シ翌年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ

兒童ヲ調査シ第九號表ノ様式ニ依リ毎年十二月末日マテニ其ノ學齡簿ヲ編製スヘ

シ但シ第二十五條第二項ニ依ル場合ニ於テハ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達ス

ヘキ兒童ヲ調査シ毎年六月末日マテニ學齡簿ヲ編製スヘシ

第八十一條 市町村長ハ學齡簿編製後三月三十一日マテニ其ノ年四月ニ於テ就學ノ

始期ニ達スヘキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルトキハ遲滞ナク之ヲ學

齡簿ニ記入スヘシ市町村長ハ就學期間中ニ在ル兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタ

ル者アルトキハ遲滞ナク其ノ兒童ノ就學ノ始期ニ達シタル年ノ學齡簿ニ記入スヘ

程二六
樣式參
照

シ但シ第二十五條第二項ニ依ル場合ニ於テハ市町村長ハ學齡簿編製後八月三十一日マテニ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者ヲ遲滞ナク學齡簿ニ記入スヘシ

市町村長ハ學齡簿ニ登載ノ兒童ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ遲滞ナク之ヲ抹消スヘシ

第二號ニ該當スル者アルトキハ市町村長ハ之ヲ抹消スルト同時ニ學齡簿ノ謄本ヲ兒童ノ轉住地ノ市町村長ニ送付スヘシ

一 兒童死亡シタルトキ
二 兒童市町村外ニ轉住シタルトキ
三 兒童ノ居所一箇年以上分明ナラサルトキ
前二項ノ外學齡簿ニ記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ加除訂正スヘシ

第八十二條 市町村長ハ兒童ヲシテ市町村立尋常小學校ニ入學セシムヘキ期日ヲ豫メ其ノ保護者ニ通知スヘシ

市町村、町村學校組合又ハ學區ノ使用ニ係ル尋常小學校二校以上アル場合ニ於テハ市町村長ハ前項ノ通知ヲ爲スニ當リ兒童ノ入學スヘキ尋常小學校ヲ指定スルコトヲ得但シ兒童ノ保護者ハ其ノ兒童ヲ入學セシメントスル尋常小學校ヲ選定シテ

之ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

第八十三條 市町村長ハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル兒童ノ氏名及入學期日ヲ關係學校長ニ通知スヘシ其ノ通知ヲ爲シタル後兒童ノ就學ニ關シ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

第八十四條 就學スヘキ兒童又ハ其ノ保護者ニシテ小學校令第三十三條ニ掲グル事由アルトキハ其ノ保護者ハ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ヲ市町村長ニ申立ツヘシ但シ貧窮ニ因ル場合ヲ除ク外醫師ノ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

第八十五條 就學猶豫ノ期間ハ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ一箇年トシ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ一箇年以下トス

第二十五條二項ノ學年ヲ置キタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ五箇月其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ七箇月トシ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ各五箇月以下又ハ七箇月以下トス

第八十六條 市町村長ハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ノ教育ヲ監督スヘシ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ニ就キ試験ヲ行フコトヲ得

第八十七條 市町村長ハ前條ノ兒童ノ教育ヲ不適當ナリト認メタルトキハ小學校令

之ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

第三十六條 一項但書ノ規定ニ依リ與ヘタル認可ヲ取消スヘシ
第八十八條 兒童ノ保護者ニ於テ其ノ兒童ヲ當然入學セシムヘキ學校以外ノ市町村立尋常小學校ニ入學セシメ又ハ官立、府縣立學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシメントスルトキ若ハ高等學校及中學校ノ豫科又ハ盲學校及聾啞學校ノ初等部ニ入學セシメントスルトキハ其ノ學校ノ管理者又ハ學校長ノ承認書ヲ添ヘ關係市町村長ニ届出ツヘシ

第八十九條 市町村立尋常小學校長ハ第十號表ノ様式ニ依リ學年ノ始ニ於テ入學シタル兒童ノ學籍簿ヲ編製スヘシ

第九十條 市町村立尋常小學校長ハ在學兒童ノ出席簿ヲ作り其ノ出席缺席ヲ明ニスヘシ

第九十一條 市町村立尋常小學校長ハ第八十三條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル兒童中入學期日後七日以内ニ其ノ小學校ニ入學セサル者アルトキハ其ノ氏名ヲ關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十二條 在學兒童ニシテ正當ノ事由ナク引續キ七日間缺席シタルトキハ關係學校長ハ遲滞ナク其ノ保護者ニ對シ兒童ヲシテ出席セシムヘキ旨ヲ通知シ仍引續キ七日以上出席セシメサルトキハ其ノ旨ヲ關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十三條 市町村長ニ於テ前二條ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係兒童ノ保護者ニ對シ其ノ兒童ノ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

前項ノ規定ニ依リ二回以上ノ督促ヲナスモ仍就學又ハ出席セシメサルトキハ市町村長ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ報告スヘシ

第九十四條 郡長又ハ府縣知事ニ於テ前條第二項ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係兒童ノ保護者ニ對シ其ノ兒童ノ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

第九十五條 市町村立尋常小學校長ハ每學年ノ終ニ卒業シタル兒童ノ氏名ヲ遲滞ナク關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十六條 第八十八條ノ規定又ハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ當然入學スヘキ學校以外ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ニシテ其ノ教科ヲ卒リタルトキ又ハ其ノ教科ヲ卒ラスシテ退學シ若ハ廢學シタルトキハ關係學校長又ハ兒童ノ保護者ハ其ノ旨ヲ關係市町村長ニ届出ツヘシ

第四章 教員檢定及免許狀

第一節 教員ノ檢定

第九十八條 小學校教員檢定委員會ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス
一 會長

教員檢定
及免許狀
教員ノ檢
定

一 常任委員
臨時委員

第九十九條 會長ハ道廳府縣內務部長ヲ以テ之ニ充ツ

常任委員及臨時委員ハ府縣知事之ヲ命ス

臨時委員ハ試驗施行ノ際之ヲ命ス

第一百條 會長ハ會務ヲ整理シ檢定ノ成績ヲ府縣知事ニ報告ス

會長事故アルトキハ府縣知事ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

臨時委員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ試驗檢定ニ關スル事ヲ掌ル

第一百二條 小學校教員檢定委員會ニ書記ヲ置キ道廳府縣判任官ヲ以テ之ニ充ツ

書記ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第一百三條 會長常任委員臨時委員及書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

第一百四條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ教員ノ檢定ヲ受クルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 削除

三 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ

辨償ヲ終ヘサル者

四 免許狀觀奪ノ處分ヲ受ケ三箇年ヲ經過セサル者

第一百五條 教員ノ檢定ハ分テ無試驗檢定及試驗檢定トシ學力身體性行ニ就キ之ヲ行

フ

第一百六條 試驗檢定ハ每年少クトモ一回之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ臨時之ヲ行フ

第一百七條 無試驗檢定ハ左ノ各號ノ一二該當スル者ニ就キ第八條乃至第十二條

ノ規定ニ對照シテ之ヲ行フ

一 師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀若ハ高等學校高等科教員免許狀ヲ

有スル者

二 高等學校高等科又ハ大學豫科ヲ卒ヘタル者

三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業

シタル者

四 中學校又ハ高等女學校ヲ卒業シタル者

五 公立私立學校認定ニ關スル規則ニ依リ認定セラレタル學校ノ卒業者、專門學

校入學者檢定規程第三條ノ試驗檢定ニ合格シタル者及同規程第八條第一號ニ

依リ專門學校入學ニ關シ指定セラレタル者

六 其ノ他府縣知事ニ於テ特ニ適任ト認メタル者

前項第四號及第五號ニ該當スル者ニ對シ小學校本科正教員ノ檢定ヲ行フ場合ハ卒

業後二箇年以上小學校教育ニ從事シタル者又ハ高等女學校ヲ卒業シ修業年限一個
年以上ノ補習科ニ於テ小學校教員ニ適スル教育ヲ受ケ卒業シタル者ニ限ル

第一百八條 小學校本科正教員ノ試験科目及其ノ程度ハ男子ニ在リテハ師範學校男生
徒、女子ニ在リテハ師範學校女生徒ニ課スル學科程度ニ準ス但シ手工、農業、商
業ノ一科目若ハ數科目ハ之ヲ闕クコトヲ得

本條ニ小學校本科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ本科正教員タル
コトヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第一百九條 小學校准教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニ在リテハ體操
ハ女子ノ小學校本科正教員ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教授法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積

歷史 日本歷史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖畫 自在畫及簡單ナル幾何畫

音樂 唱歌、樂器使用法

體操 體操、教練及遊戲

裁縫 通常ノ衣類ノ裁キ方、縫ヒ方、繕ヒ方

手工 手工ノ大要

農業 農業ノ大要

商業 商業ノ大要

前項ノ科目中農業及商業ハ男子ニ限リ裁縫ハ女子ニ限ル

圖畫、音樂、手工、農業、商業ノ一科目若ハ數科目ハ之ヲ闕クコトヲ得

本條ニ小學校准教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ准教員タルコトヲ得
ヘキ者ヲ謂フ

第一百十條 小學校專科正教員ノ試験科目ハ音樂、體操、裁縫、手工、農業、商業、
家事、圖畫、外國語ノ一科目若ハ數科目トス

府縣知事ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ前項試験科目ノ外必要ナル科目ニ付試験ヲ行フ
事ヲ得、試験科目ノ程度ハ師範學校生徒ニ課スル各科目ノ程度ニ準ス但前項ノ試

験科目ニ在リテハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル
各科目ノ試験ハ教育ノ大要及受験科目ノ教授法ヲ附帶セシメ之ヲ行フ

小學校專科正教員ノ試験ハ小學校教員檢定委員會ニ於テ修身、國語、算術ニ關シ

普通ノ學力ヲ有スト認メタル者ニアラサレハ之ヲ行ハス
本條ニ小學校專科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ專科正教員タル
コトヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第百十一條 尋常小學校本科正教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニ在
リテハ體操ハ女子ノ小學校本科正教員ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教授法及學校管理法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積

歴史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖畫 自在畫

音樂 唱歌、樂器使用法

體操 體操、教練及遊戲

裁縫 通常ノ衣類ノ裁チ方、縫ヒ方、繕ヒ方

前項ノ科目中裁縫ハ女子ニ限ル

音樂ハ之ヲ關クコトヲ得

第百十二條 尋常小學校准教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニ在リテ

ハ體操ハ第百十一條第一項但書ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教育、教授法ノ大要

國語 小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例

歴史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ初歩

圖畫 簡易ナル自在畫

唱歌 單音唱歌

體操 體操、教練及遊戲

圖畫、唱歌ノ一科目若ハ二科目ハ之ヲ關クコトヲ得

第百十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ試験檢定ヲ行フトキハ小學校教員檢

定委員會ニ於テ第百八條乃至第百十二條ノ規定ニ對照シテ某科目ニ關シ同等以上
ノ學力アリト認メタル者ニ對シテハ其ノ科目ノ試験ヲ關クコトヲ得

教員ノ免許狀

- 一 師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀若ハ高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者
 - 二 小學校教員免許狀ヲ有スル者
 - 三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタル者
 - 四 小學校教員免許狀又ハ小學師範學科卒業證書ヲ有シ其ノ有効期間滿チタル者
 - 五 小學校教員講習科ヲ卒リタル者
 - 六 中學校又ハ明治三十二年文部省令第三十四條ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル學校ヲ卒業シタル者
 - 七 高等女學校ヲ卒業シタル者
- 第百十四條 試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試驗ニ合格セサルモ某科目ニ關シ成績佳良ナルトキハ府縣知事ハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與スルコトヲ得
前項ノ證明書ヲ受ケタル者ニシテ更ニ試驗檢定ヲ出願スルトキハ其ノ證明書ニ記載シタル科目ノ試驗ヲ關ク
- 第百十五條 府縣知事ハ檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得
- 第百十六條 削除 第二節 教員ノ免許狀

程四六
樣式參
照

職員
學校長及
教員ノ進退

- 第百十七條 師範學校長ハ師範學校ヲ卒業シタル者ニ對シ小學校教員免許狀ノ授與ヲ府縣知事ニ申請スヘシ
- 第百十八條 削除
- 第百十九條 府縣知事ハ小學校教員免許狀登錄簿ヲ作り免許狀ヲ授與シタル者ノ氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ
- 第百二十條 免許狀ヲ有スル者其ノ氏名ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ書換若ハ再渡ヲ府縣知事ニ出願スルコトヲ得
前項ニ依リ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料トシテ府縣知事ノ定メタル金額ヲ納ムヘシ
- 第百二十一條 免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名及免許狀ノ種類ハ府縣知事之ヲ公告ス
- 第五章 職員**
- 第一節 學校長及教員ノ進退
- 第百二十二條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一二該當スルトキハ府縣知事ハ之ニ休職ヲ命スルコトヲ得
- 一 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルニ因リ職務ヲ行フニ妨アルトキ
 - 二 學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
 - 三 教員養成ヲ目的トスル官立府縣立學校ニ入學スルトキ

四 名譽職タル町村長及助役ニ當選シタルトキ
 五 私立小學校ノ教員又ハ外國ニ於テ本邦人ヲ教育スル爲ニ設置シタル學校ノ教員トナルトキ
 六 刑事事件ニ關シ告訴若ハ告發セラレタルトキ
 七 一年現役兵トシテ服役シタル後陸軍補充令第十七條ニ依リ勤務演習等ニ召集セラレタルトキ

第百二十三條 市町村立小學校正教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス但シ徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ一年現役兵トシテ服役スル者又ハ陸軍六週間現役ニ服スル者ハ此ノ限ニアラス

第百二十四條 休職ノ期間ハ第百二十二條第一號第二號第四號及第五號ノ場合ニ在リテハ一箇年トシ同條第六號ノ場合ニ在リテハ其ノ事件ノ裁判所ニ繫屬中トシ同條第三號及第百二十二條ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月、第百二十二條第七號ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙一箇月トス但シ第百二十二條第五號後段ノ場合ニ在リテハ府縣知事ハ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第百二十五條 休職者ハ職務ニ從事セサル外總テ在職者ト異ナルコトナシ但シ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニアラス

第百二十六條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ府縣知事ハ之

ニ退職ヲ命スルコトヲ得

一 不具、瘵疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ

二 傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ

三 休職者復職シタル爲其ノ代員ヲ要セサルトキ

第百二十七條 第百二十二條又ハ第百二十六條ノ事由ニ因ラスシテ休職又ハ退職ヲ命スル必要アリト認めタルトキハ府縣知事ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得但シ休職ノ場合ニ於テハ豫メ期間ヲ定メテ具申スルコトヲ要ス

第百二十八條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

一 當該學校ノ癡セラレタルトキ

二 休職期間滿チタルトキ

第百二十九條 市町村立小學校教員ニシテ免許狀觀奪ノ處分ヲ受ケ又ハ其ノ免許狀ニシテ効力ヲ失ヒタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第百三十條 市町村立小學校准教員ノ進退ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第百三十一條 第百二十二條第一號、第百二十六條第一號及第二號前段ノ事由ニ因リ處分セントスルトキハ府縣知事ハ其ノ府縣恩給顧問醫ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス

學校長及
教員ノ職
務及服務

第三百三十二條 私立小學校長及教員ノ採用解職ハ設立者ニ於テ遲滯ナク府縣知事ニ届出ツヘシ

第二節 學校長及教員ノ職務及服務

第三百三十三條 學校長及教員ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ヲ奉體シ法律命令ニ從ヒ誠實ニ其ノ職務ニ服スヘシ

第三百三十四條 學校長ハ校務ヲ整理シ所屬職員ヲ統督ス

第三百三十五條 正教員ハ兒童ノ教育ヲ擔任シ且之ニ屬スル事ヲ掌ル

第三百三十六條 准教員ハ本科正教員ノ職務ヲ助ク

第三百三十七條 市町村立小學校長及教員ハ當該學校所在ノ市町村、市町村學校組合町村學校組合ノ地域内ニ居住スヘシ但シ監督官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

學校長及教員ハ擅ニ其ノ職務ヲ離レ又ハ職務上居住スヘキ地ヲ離ル、コトヲ得ス

第三百三十八條 學校長及教員ハ營利ヲ目的トスル會社ノ業務執行社員、取締役、監査役ト爲リ又ハ給料ヲ受ケテ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス但シ府縣知事ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

學校長及教員ハ府縣知事ノ認可ヲ受ケルニアラサレハ營利ヲ目的トスル業務ヲ爲スコトヲ得ス

懲戒處分
業務停止
及免許狀
褫奪

第三節 懲戒處分、業務停止及免許狀褫奪

第三百三十九條 市町村立小學校長及教員ニ對シ懲戒處分ヲ行ハントスルトキハ府縣知事ハ期間ヲ定メテ本人ヨリ手續書ヲ徵スルコトヲ要ス但シ之ヲ徵スルコト能ハサル理由アルトキハ此ノ限ニアラス

第四百十條 懲戒處分ヲ行フヘキ事件刑事裁判所ニ繫屬スル間ハ同一事件ニ關シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得ス

第四百十一條 市町村立小學校長及教員ニ對シ懲戒處分ヲ行フトキハ府縣知事ハ本人ニ處分書ヲ交付スヘシ

第四百十二條 市町村立小學校長及教員ノ減俸ハ一ヶ月以上一箇年以下減俸ノ處分ヲ受ケタル當時ノ俸給月額ノ三分ノ一以トテ減給ス

第四百十三條 市町村立小學校教員ニシテ免職ノ處分ヲ受ケタル者ハ二箇年ヲ經ルニアラサレハ教員ノ職ニ就クコトヲ得ス

第四百十四條 第三百三十九條乃至第四百十一條ノ規定ハ業務停止及免許狀褫奪ノ處分ニ關シ之ヲ準用ス

第四百十五條 私立小學校長及教員ノ業務停止ハ一箇月以上二箇年以下トス

第四百十六條 府縣知事ニ於テ學校長又ハ教員ニ對シ免職、業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ行ヒタルトキハ其ノ氏名、職名及事由ヲ具シ文部大臣ニ報告スヘシ

第四百十七條 府縣知事ハ免職又ハ業務停止ノ處分ヲ受ケタル學校長及教員ニシテ改悛ノ實顯著ナリト認メタル者ニハ第四百十三條ノ期間内又ハ業務停止ノ期間内ト雖モ文部大臣ノ認可ヲ受ケ教員ノ職ニ就クコトヲ得シメ又ハ業務停止ヲ解クコトヲ得

俸給旅費及諸給與準則

第四百十八條 第四節 俸給旅費及諸給與準則
 教員ノ月俸額ハ左表ニ依リ之ヲ定ムヘシ

職名	本科正教員		專科正教員		准教員	
	上	下	上	下	上	下
一級	百八十圓	百六十圓	百二十圓	百圓	六十圓	五十圓
二級	百四十五圓	百三十圓	九十圓	七十圓	五十圓	四十圓
三級	百二十圓	百圓	八十圓	七十圓	五十圓	四十圓
四級	百圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓
五級	八十五圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓	三十圓
六級	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓	三十圓	二十圓
七級	六十圓	五十圓	四十圓	三十圓	二十圓	十圓
八級	五十圓	四十圓	三十圓	二十圓	十圓	十圓
九級	四十圓	三十圓	二十圓	十圓	十圓	十圓

第四百十九條 一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ本科正教員ニ在リテハ二百四十圓マテ專科正教員ニ在リテハ百六十圓マテ漸次増給スルコトヲ得

第四百十條 教員ノ俸給ハ當分ノ内等級相當ヲ減シテ之ヲ支給スルコトヲ得

第四百十一條 專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼ムル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトヲ得

第四百十二條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトヲ得ス

第四百十三條 休職者ニハ其ノ休職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス但シ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ於テ特別ノ事情アル場合若ハ第二百二十二條第三號乃至第五號ニ該當スル者ニ對シテハ之ヲ給セサルコトヲ得

市町村立小學校正教員ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ一年現役兵トシテ服役スル者ハ其ノ服役中俸給ノ十分ノ二ヲ減ス

第四百十四條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス但シ其ノ額ハ府縣知事ニ於テ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

第四百十五條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得

第五百五十六條 教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ給スヘシ

一 懲戒ニ因リ免職ニ處セラレタルトキ

二 免許狀褫奪又ハ免許狀ノ失効ニ因リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第五百五十七條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト休職中トニ拘ラス在職最終ノ俸給月額三箇月分ヲ其ノ遺族ニ給スヘシ

第五百五十八條 正教員ノ旅費額ハ判任文官ノ例ニ準シ之ヲ定メ准教員ノ旅費額ハ地方ノ情況ヲ量リ之ヲ定ムヘシ但シ正教員ニシテ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル學校長ヲ兼務スル者ノ旅費額ハ奏任文官ノ例ニ準シ之ヲ定ムヘシ

第五百五十九條 教員ニシテ一週三十二時ヲ超エ教授ヲ擔任スル者ニハ手當ヲ給スヘシ

第六百六十條 學校長又ハ教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトヲ得

第六百六十一條 教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第六百六十二條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ

第六百六十三條 教員ニハ土地ノ情況ニ依リ住宅料ヲ給スヘシ

第六百六十四條 第五百五十九條及第六百六十條ニ依リ給スル金額ハ府縣知事ニ於テ管理

代用教員

者ノ意見ヲ聞キテ之ヲ決定シ第六百六十一條乃至第六百六十三條ニ依リ給スル金額ハ管理者ニ於テ之ヲ決定スヘシ

第六百六十五條 本節ニ規定アルモノヲ除ク外俸給及旅費ノ支給方法ハ判任文官ノ例ニ準シ地方ノ情況ヲ量リ之ヲ定ムヘシ

第六百六十六條 第四百四十八條ニ掲グル表ニ依リ難キ事情アルトキハ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六百六十七條 本節ニ學校長、教員トアルハ市町村立小學校ノ學校長、教員ヲ謂フ

第五節 代用教員

第六百六十八條 市町村立小學校代用教員ノ採用解職及懲戒處分ハ市町村立小學校准教員ノ例ニ依ル

第六百六十九條 削除

第七百七十條 私立小學校代用教員ノ採用解職ニ關シテハ第三百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第七百七十一條 小學校令第四十七條ノ規定並ニ本令第五章第二節ノ規定中准教員ニ關スルモノハ代用教員ニ準用ス

第七百七十二條 府縣知事ニ於テ私立小學校代用教員ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ解職セシムレコトヲ得

授業料

第七十三條 市町村立小學校代用教員ノ俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規定ハ府縣知事之ヲ定ム

第六章 授業料

第七十四條 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收セントスルトキハ市ニ在リテハ一箇月二十錢以下町村又ハ町村學校組合ニ在リテハ一箇月十錢以下ニ於テ其ノ金額ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七十五條 高等小學校ニ於テ徵收スル授業料ハ市又ハ市町村學校組合ニ在リテハ一箇月六十錢以下町村又ハ町村學校組合ニ在リテハ一箇月三十錢以下ニ於テ其ノ金額ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七十六條 特別ノ事情アルトキハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ期間ヲ定メテ前二項ノ制限ヲ超エタル授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第七十七條 小學校補習科ノ授業料額ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 小學校ニ於テハ學年ニ依リ授業料額ニ差等ヲ設クルコトヲ得ス

第七十九條 他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ第七十四條及第七十五條ノ制限以内ニ於テ授業料額ヲ増スコトヲ得但シ兒童教育事務ヲ

學務委員

委託シタル市町村、町村學校組合又ハ學區ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ此ノ限ニアラス
第八十條 貧窮ノ爲授業料ヲ納ムルコト能ハサル者ニ對シテハ管理者ハ授業料ノ全部又ハ一部ヲ免除スヘシ
一家ノ兒童二人以上同時ニ小學校ニ就學スルトキハ管理者ハ授業料額ヲ減スルコトヲ得

第八十一條 本章ノ規定ハ私立小學校ニ關シ之ヲ適用セス

第七章 學務委員

第八十二條 市町村、市町村學校組合、町村學校組合並ニ學區ノ學務委員ハ十人以下トス但シ東京市ニ在リテハ十五人マテニ増スコトヲ得

第八十三條 學務委員ハ左ニ掲クル事項ニ就キ市町村長、市町村學校組合管理者、町村學校組合管理者、區長並ニ其ノ代理者ヲ補助シ又ハ其ノ諮問ニ應シテ意見ヲ陳述ス

- 一 就學督促ニ關スルコト
- 二 家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ノ認可ニ關スルコト
- 三 就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ニ關スルコト
- 四 設備ニ關スルコト

- 五 經費豫算ノ調製ニ關スルコト
 - 六 授業料ニ關スルコト
 - 七 學校基本財産ニ關スルコト
 - 八 教科目ノ加除及小學校令第二條第二項及第三項ノ教科目選定ニ關スルコト
 - 九 修業年限ニ關スルコト
 - 十 補習科ノ設置廢止ニ關スルコト
- 第百八十四條 公民中ヨリ選舉セラレタル學務委員ノ任期ハ四箇年トス
 補缺選舉ニ依リ就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
 第百八十五條 學務委員ニシテ資格ノ要件ヲ失ヒタル者ハ當然其ノ職ヲ失フ

第八章 削 除

第百八十六條以下第百九十四條マテ削除

第九章 幼稚園及小學校ニ類スル各種學校

第百九十五條 幼稚園ハ滿三歳ヨリ尋常小學校ニ入學スルマテノ幼兒ヲ保育スルヲ以テ目的トス

第百九十六條 幼兒ヲ保育スルニハ其ノ心身ヲシテ健全ニ發達セシメ善良ナル習慣ヲ得シメ以テ家庭教育ヲ補ハンコトヲ要ス

幼兒ノ保育ハ其ノ心身發達ノ程度ニ副ハシムヘク其ノ會得シ難キ事項ヲ授ケ又ハ

幼稚園及
小學校ニ
類スル各
種學校

過度ノ業ヲナサシムルコトヲ得ス常ニ幼兒ノ心情及行儀ニ注意シテ之ヲ正シクセシメ又常ニ善良ナル事例ヲ示シテ之ニ倣ハシメンコトヲ務ムヘシ

第百九十七條 幼兒保育ノ項目ハ遊戯唱歌談話及手技トス

第百九十八條以下第二百一一條マテ削除

第二百二條 保育ノ時數ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二百三條 幼稚園ニ園長ヲ置クコトヲ得

第二百四條 幼稚園ニ於テ幼兒ヲ保育スル者ヲ保母トス
保母ハ女子ニシテ小學校ノ本科正教員又ハ准教員タルヘキ資格ヲ有スル者又ハ府縣知事ノ免許ヲ得タル者タルヘシ

第二百五條 保母ノ免許ヲ得ルニハ檢定ニ合格スルコトヲ要ス
前項檢定ハ小學校教員檢定委員會ニ於テ之ヲ行フ

檢定ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム
第百四條第百十四條第百十五條第百十九條乃至第二百一十一條ノ規定ハ保母ノ檢定及免許ニ關シ之ヲ準用ス

第二百五條 幼稚園長及保母ノ採用、解職、懲戒處分、業務停止ハ小學校教員ノ例ニ依ル

第二百六條 幼稚園ノ幼兒數ハ約百二十人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ約二百人マテニ増スコトヲ得

第二百七條 保姆一人ノ保育スル幼兒數ハ約四十人以下トス

第二百八條 幼稚園ノ設備ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルヘシ

- 一 建物ハ平家造トシ保育室、遊戲室其ノ他必要ナル諸室ヲ備フヘシ
- 二 保育室ノ大サハ幼兒五人ニ付キ一坪ノ割合ヲ以テ設クルヲ常例トス
- 四 恩物、繪畫、遊戲道具、樂器、黑板、机、腰掛、時計、寒暖計、暖房器其ノ他必要ナル器具ヲ備フヘシ

五 敷地、飲料水及採光窓ニ關シテハ小學校ノ例ニ依ルヘシ

第二百九條 小學校ニ類スル各種學校ニハ學校長ヲ置クコトヲ得

第二百十條 小學校ニ類スル各種學校教員ハ小學校教員タルヘキ資格ヲ有スル者又ハ府縣知事ノ免許ヲ得タル者タルヘシ

第二百十一條 小學校ニ類スル各種學校ノ學校長及教員ノ採用、解職、懲戒處分、業務停止ハ小學校教員ノ例ニ依ル
市町村立ノ小學校ニ類スル各種學校長及教員ノ俸給及旅費其ノ他諸給與ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第十章 附則

附則

第二百十二條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ施行ス但シ第一章中第一節乃至第四節、第五章中第四節及第五節、第六章、第八章ノ規定ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第二百十三條 小學校ニ於テ第三十五條ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ明治三十四年四月一日ヨリ五箇年間ハ三學級毎ニ本科正教員一人及准教員二人ヲ置クコトヲ得

既設小學校ノ編制ニシテ第三十五條ヲ除ク外第一章第三節ノ規定ニ抵觸スル場合ニ於テ特別ノ事情アルトキハ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ期間ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケ同節ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二百十四條 既設ノ補習科ニ於テ第一章第四節ノ規定施行ノ際現ニ其ノ教科ヲ學習スル兒童ニ就キテハ其ノ兒童ノ修了スルニ至ルマテ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第二百十五條 本令施行前府縣知事ニ於テ採定シタル小學校教科用圖書ハ本令施行後仍其ノ効力ヲ有ス

第六十條ノ規定ニ依リ學年開始前公布ヲ爲スヘキ期間ハ本令施行ノ日ヨリ明治三十四年三月三十一日マテハ六十日トス
第二百十六條 本令施行前府縣知事ニ於テ定メタル規定ニ依リ編纂シタル學齡簿及學籍簿ハ第三章ノ規定ニ依リ編製シタルモノト見做ス

第二百十七條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀及之ト同一ノ効力ヲ有スル小學校師範科卒業證書ハ本令ノ規定ニ依ル小學校教員免許狀及之ニ相當スルモノト同一ノ効力ヲ有ス

第二百十八條 本令施行前從前ノ規程ニ依リ休職ヲ命セラレタル教員ノ休職期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

第二百十九條 市町村立小學校教員ノ俸給、旅費其ノ他給與ニ關シテハ本令施行ノ日ヨリ明治三十四年四月三十一日迄ハ府縣知事ニ於テ定メタル從前ノ規程ニ依ル

第二百二十條 本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ニシテ公民中ヨリ選舉セラレ任期アル者ハ任期ノ滿了マテ其ノ職ヲ失フコトナシ其ノ任期ナキ者ハ本令施行ノ日ヨリ第百八十四條第一項ノ任期ヲ起算ス

本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ノ數第百八十二條ニ規定シタル制限ニ超過スルトキハ抽籤ニ依リテ退職者ヲ定ムヘシ

第二百二十一條 第八章ノ規定施行ノ際現ニ代用中ノ私立小學校ノ代用ニ關シテハ協議ニ依リ定メタル期間ノ滿了マテ從前ノ例ニ依ル

第二百二十二條 既設幼稚園ニシテ第二百六條及第二百八條ノ規定ニ依リ難キトキハ期間ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケ之ニ依ラサルコトヲ得

第二百二十三條 明治二十四年文部省令第九號、同第十四號、同第十六號、同第十

八號乃至同第二十三號、明治二十六年文部省令第二號、同第三號、明治二十七年文部省令第一號、同第九號、明治二十九年文部省令第十號、同第十一號、明治三十二年文部省令第三十二號、同第三十七號ハ之ヲ廢止ス

明治二十七年文部省令第二十六號中補習科ニ關スル規定、明治二十四年文部省令第一號、同第四號、同第八號、同第十號乃至同第十三號、明治二十五年文部省令第七號、明治二十六年文部省令第九號、明治三十年文部省令第二號ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

第四號表

科目	修身	國語	算術	理科	社會	音樂	美術	勞作	體育	衛生	道徳	宗教	其他
第一	二年	一〇	易ナル字及近知ノ日常須	假名、發音、要旨	道徳ノ要旨	二年	二	二	二	二	二	二	二
第二	二年	一二	普通ナル字及近知ノ日常須	假名、發音、要旨	道徳ノ要旨	二年	二	二	二	二	二	二	二
第三	二年	一二	ノ普通ナル字及近知ノ日常須	假名、發音、要旨	道徳ノ要旨	二年	二	二	二	二	二	二	二
第四	二年	一二	ノ普通ナル字及近知ノ日常須	假名、發音、要旨	道徳ノ要旨	二年	二	二	二	二	二	二	二
第五	二年	九	ノ普通ナル字及近知ノ日常須	假名、發音、要旨	道徳ノ要旨	二年	二	二	二	二	二	二	二
第六	二年	九	ノ普通ナル字及近知ノ日常須	假名、發音、要旨	道徳ノ要旨	二年	二	二	二	二	二	二	二

圖 畫	理 科	地 理
ル簡單形體ナ		
ル簡單形體ナ		
一 ル簡單形體ナ		
一 ル簡單形體ナ	二 現學物通現自鑛動植 象上理常象然物物 ノ化ノ、ノ及、	
女男 一 ル簡單形體ナ	二 現學物通現自鑛動植 象上理常象然物物 ノ化ノ、ノ及、	二 要理日 ノ本 大地
女男 一 ル簡單形體ナ	二 現學物通現自鑛動植 象上理常象然物物 ノ化ノ、ノ及、	二 ノ國ノ滿ノ前 大地他州續學 要理外其キ年

歴日 史本	算 術	
	五	
	減ケ内ノ下二書唱ノ百 乗ルニ範ノ十キヘ數以 除加於園數以方方ノ下	話リ方ノ普 シ方、讀通 方、綴ミ文
	五	
	乗ルニ範ノ百書唱ノ千 除加於園數以キヘ數以 減ケ内ノ下方方ノ下	話綴キ方ノ シ方、讀 方方、書ミ
	六 除加通 減常 乗ノ	話綴キ方 シ方、 方方、書
	六	
	加(減ナ及書ビ數除加通 減珠乗ル簡キ方ノ及減常 算除加易方、呼小乗ノ)	話綴キ方 シ方、 方方、書
二 要史日本 ノ大歴	四 加(諸小整 減珠等數、 算數、)	話リ方、 シ方、 方、綴
二 ノ前學 續キ年	四 除加(歩分 減珠合數、 乗算算、)	話綴 シ方 方方

圖畫ハ第一學年第二學年ニ於テハ每週一時之ヲ課スルコトヲ得
 手工ハ第一學年第二學年第三學年ニ於テハ每週一時、第四學年第五學年第六學
 年ニ於テハ每週二時之ヲ課スルコトヲ得

計	手工	裁縫	體操	唱歌
二二	簡易ナ ル細工		四 遊教體 戲練操	平 ル 易 ナ 單 音
二三	簡易ナ ル細工		四 遊教體 戲練操	平 ル 易 ナ 單 音
二五	簡易ナ ル細工		三 遊教體 戲練操	一 平 ル 易 ナ 單 音
男女 二元	簡易ナ ル細工	二 運針法 並常ノ 衣類ノ 縫ヒ方	三 遊教體 戲練操	一 平 ル 易 ナ 單 音
男女 三元	簡易ナ ル細工	三 縫ヒ方 縫ヒ方	三 遊教體 戲練操	二 平 ル 易 ナ 單 音
男女 三元	簡易ナ ル細工	三 縫ヒ方 縫ヒ方	三 遊教體 戲練操	二 平 ル 易 ナ 單 音

第五號表(修業年限二年ノモノ)

教科	學年	每週教 授時數	第一學 年	每週教 授時數	第二學 年
修身	二	二	二 道德ノ要旨	二	二 道德ノ要旨
國語	八	八	日 常須知ノ 文字及普 通文ノ 讀ミ方、 書キ方、 綴リ方	八	日 常須知ノ 文字及普 通文ノ 讀ミ方、 書キ方、 綴リ方
算術	四	四	分 數、步合 算、比例 (珠算、 加減乘除)	四	比 例(日用 簿記) (珠算、 加減乘除)
日本歷史	二	二	日 本歷史ノ 大要	二	前 學年ノ 續キ
地理	二	二	外 國地理ノ 大要	二	地 理ノ補 習
理科	二	二	植 物、動物、 礦物及自 然ノ 現象、通 常ノ物理 化學上ノ 現象、元 素及化合 物、簡易 ナル器械 ノ構造作 用、人身 生理衛生 ノ大要	二	自 然ノ現象、 通常ノ物 理化學上 ノ現象、 元素及化 合物、簡 易ナル器 械ノ構造 作用、人 身生理衛 生ノ大要
唱歌	一	一	單 音唱歌(簡 易ナル複 音唱 歌)	一	單 音唱歌(簡 易ナル複 音唱 歌)

體操	三體操 教練 遊戲	三體操 教練 遊戲
裁縫	四 通常ノ衣服ノ縫ヒ方、裁キ	四 通常ノ衣服ノ縫ヒ方、裁キ
計	男二四 女二八	男二四 女二八

小學校令第二十條第二項及第三項ノ教科目ニ關シテハ本表ノ時數ノ外男兒六時以內、女兒四時以內ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得
前項ノ外本表各教科目ノ每週教授時數ヲ增加スルコトヲ得但シ每週教授時數ノ合計男兒ニ在リテハ三十時、女兒ニ在リテハ三十二時ヲ超ユルコトヲ得ス
實習ニ關シテハ規定ノ教授時數外ニ涉リ尙之ヲ課スルコトヲ得

第六號表 (修業年限三年ノモノ)

修身	每週教授時數	第一學年	第二學年	第三學年
二 道德ノ要旨	二	二 道德ノ要旨	二 道德ノ要旨	二 道德ノ要旨

國語	算術	日本歴史	地理	理科
八 日常須知ノ文字及 普通文ノ讀ミ方、 書キ方、綴リ方、	四 分數 歩合算 比例 (珠算 加減乗除)	二 日本歴史ノ大要	二 外國地理ノ大要	二 植物、動物、礦物 及自然ノ現象、 常ノ物理化學上ノ 現象、元素及化合 物、簡易ナル器械 ノ構造、作用、大 身生理衛生ノ大要
八 日常須知ノ文字及 普通文ノ讀ミ方、 書キ方、綴リ方、	四 比例 (珠算 加減乗除)	二 前學年ノ續キ	二 地理ノ補習	二 自然ノ現象、 物理化學上ノ通 常ノ物理化學上ノ 現象、元素及化合 物、簡易ナル器械 ノ構造、作用、大 身生理衛生ノ大要
八 日常須知ノ文字及 普通文ノ讀ミ方、 書キ方、綴リ方、	四 前學年ノ補習 求積 (日用簿記) (珠算 加減乗除)	二 維新以來ノ事歴	二 地理ノ補習	二 理科ノ補習

第九號表

考 備	學 就 不	學 就	名 氏	住 所	生 年 月 日	學 齡 終 年 月 日	保 護 者			免 年 月 日	除 事 由
							氏 名	住 所	職 業		
	猶 年 月 日	入 學 シ タ ル 學 校 又 ハ 教 授 者 氏 名					兒 童 ト ノ 關 係				
	事 由	就 學 シ タ ル 年 月 日									
	期 間	尋 常 小 學 校 ノ 教 科 ナ リ タ ル 年 月									

小學校令第二十條第二項及第三項ノ教科目ニ關シテハ本表ノ時數ノ外男兒六時以內、女兒四時以內ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得
前項ノ外本表各教科目ノ每週教授時數ヲ增加スルコトヲ得但シ每週教授時數ノ合計男兒ニ在リテハ三十時、女兒ニ在リテハ三十二時ヲ超ユルコトヲ得ス
實習ニ關シテハ規定ノ教授時數外ニ涉リ尙之ヲ課スルコトヲ得

計	裁 縫	體 操	唱 歌
男 四 女 六	通常ノ衣服ノ縫ヒ 四方、裁チ方、繕ヒ	三體操 教練 遊戲	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱 歌)
男 二 四 女 三 六	通常ノ衣服ノ縫ヒ 四方、裁チ方、繕ヒ	三體操 教練 遊戲	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱 歌)

小學校令施行規程

(備考) 學校醫ナ置カサル學校ニ於テハ身體ノ狀況ハ之ヲ問ダクトヲ得

小學校令施行規程目次

第一章	設置及廢止	八七
第二章	教科及編制	九四
第三章	學期、休業日及教授時數	九六
第四章	設備	九八
第五章	就學	九九
第六章	教員檢定及免許狀	一〇三
第七章	學校長及教員ノ進退	一〇四
第八章	學校長、教員ノ職務及服務	一〇六
第九章	俸給旅費及諸給與	一〇九

第十章	授業料	一一五
第十一章	區長及其ノ代理者ノ教育事務	一一六
第十二章	幼稚園及小學校ニ類スル各種學校	一一六
第十三章	附則	一一八

小學校令施行規程 (大正二年二月十日 三日縣令第五號)

第一章 設置及廢止

設置及廢止

第一條 小學校令第九條第二項ニ依リ町村立尋常小學校ノ校數並位置指定ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ位置ノ擴張又ハ縮少ニ關シテハ第一號第三號乃至第五號ノ事項ヲ具スルヲ要セス

- 一、校數
- 二、位置 (大字、字、地番、地目、反別ヲ記ス)
- 三、通學距離 (設置區域內各部落ヨリ學校位置(從來ノ位置)及新ニ指定セントスル位置)ニ通スル距離及其ノ道路ノ難易ヲ記ス)
- 四、月數、人口、學齡兒童數 男 (設置區域) 女 (別ニ記ス)
- 五、町村圖面 (山川、道路、人家所在ノ狀況、新舊學校ノ位置、學校所屬部落ノ區劃等ヲ記ス)
- 六、校地圖面 (區劃シテ地番、反別、附近ノ狀況、方位ヲ記ス)
- 七、實施年月日

樣式參照

第二條 小學校令第十條ニ依リ同令第七條及第八條ノ組合設置ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一、關係町村ノ戶數、人口、學齡兒童數男 (以上町村毎ニ區別シ學齡兒童ハ現在就學ト卒業トニ區別シテ記ス)

二、關係町村財政調 (歲入歲出豫算表、學校基本財産、(金穀、土地、證券等ノ種別ヲ記ス) 負債額並償還ノ方法、)

三、關係町村圖面 (第一條第一項第五號ノ例ニ依ル)

四、組合規約

五、實施年月日
前項ノ組合ヲ解カントスルトキハ其ノ事由及兒童處分法ヲ具シ知事ノ認可ヲ受ケヘシ

第三條 小學校令第十條第二項ニ依リ同令第八條ノ教育事務委託ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一、委託セシムヘキ町村ノ戶數、人口、學齡兒童數男就學兒童數男 (第二條第一項第一號ノ例ニ依ル)
以下同シ)

二、委託セシムヘキ部分ノ學齡兒童數男、就學兒童數男 (一部委託ノトキニ限ル)

三、關係町村ノ圖面 (第一條第一項第五號ノ例ニ依ル但一部委託ノトキハ其部分ハ特ニ符號ヲ用ヒテ記ス)

四、委託ヲ受ケヘキ町村、町村學校組合、區ノ使用スヘキ學校名、學齡兒童數男、現在就學兒童數女

五、委託ノ條款

六、實施年月日
前項ノ委託ヲ解カントスルトキハ其ノ事由及兒童處分法ヲ具シ知事ノ認可ヲ受ケヘシ

第四條 小學校令第十五條ニ依リ高等小學校ヲ設置シ又ハ既設ノ尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置スルニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

- 一、名稱、位置 (第一條第一項第二號ノ例ニ依ル)
- 二、修業年限
- 三、學級編制豫定表 (第一號ノ樣式)

令一五
樣式參
照

四、校地、校舍圖面

(校地圖ハ校舍及體操場ヲ配置シ方位並周圍ノ狀況及校地、體操場ノ坪數ヲ記シ校舍圖ハ教室、教員室其他各室ノ配置並其坪數ヲ記ス)

五、町村財政調

(第二條第一項第二號ノ例ニ依ル但組合町村ノ設置ニ係ルトキハ收入支出豫算細目ノミヲ具ス)

六、開校年月日

前項第一號第二號第四號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 小學校令第十六條ニ依リ私立小學校ノ設置ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントス

ルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一、名稱、位置 (第一條第一項第一號ノ例ニ依ル)

二、修業年限

三、學級編制豫定表 (第一號ノ例ニ依ル)

四、校地、校舍圖面 (第四條第一項第一號ノ例ニ依ル)

五、設置ニ要スル費用及收入支出豫算細目

六、維持ノ方法

七、入學、退學及授業料規則

八、設立者履歷 (私立ニ限ル)

九、開校年月日

前項第一號第二號第四號第七號第八號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 小學校令第十七條ニ依リ幼稚園設置ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキ

ハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一、名稱、位置 (第一條第一項第一號ノ例ニ依ル)

二、保育ノ課程及日時並休業日

三、幼兒ノ豫定數 男 女

四、敷地、建物圖面 (第四條第一項第一號ノ例ニ依ル)

五、收入支出豫算細目

六、設置ニ要スル費用及維持ノ方法 (私立ニ限ル)

七、入園、退園、保育料規則

八、設立者履歷 (私立ニ限ル)

九、開闢年月日

前項第一號第二號第四號第七號第八號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 小學校令第十七條ニ依リ盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校設置ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一、名稱、位置 (第一條第一項第一、二號ノ例ニ依ル)

二、修業年限

三、學科課程、授業日數、休業日

四、生徒豫定數男女

五、校地、校舍圖面 (第四條第一項第四號ノ例ニ依ル)

六、收入支出豫算細目

七、設置ニ要スル費用及維持ノ方法 (私立ニ限ル)

八、入學、退學、授業料規則

九、設立者履歷 (私立ニ限ル)

十、開校年月日

前項第一號乃至第三號及第五號第八號第九號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 第四條乃至第七條ノ學校又ハ幼稚園ヲ設置セシ後合併若ハ分離ヲ爲サントスルトキハ設置ノ手續ニ依リ其ノ事由及資産處分法 (私立ニ限ル) ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 第四條乃至第七條ノ學校又ハ幼稚園ノ廢止ヲ爲サントスルトキハ市町村立ニ係ルモノハ其ノ事由及兒童處分法並資産處分法 (私立ニ限ル) ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 町村立尋常小學校ニ分教場ヲ設置シ又ハ其ノ位置ヲ變更セントスルトキハ郡長ニ於テ町村ノ意見ヲ聞キ其ノ事由及左ノ事項ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ但位置ノ變更ニ關シテハ第七號ノ事項ヲ具スルコトヲ要セス

一、位置 (第一條第一項第一、二號ノ例ニ依ル)

二、分教場位置ヨリ町村内各尋常小學校ニ至ル距離及道路ノ難易

制教科及編

- 三、分教場及所屬小學校ノ學級編制豫定表 (第一號) (樣式)
 - 四、分教場及所屬小學校ノ通學區域ノ戶數、人口、學齡兒童數 (第二條第一項第一號ノ例ニ依ル)
 - 五、町村圖面 (第一條第一項第一號ノ例ニ依ル)
 - 六、分教場敷地圖面 (第四條第一項第一號ノ例ニ依ル)
 - 七、歲入歲出豫算細目
 - 八、實施年月日
- 高等小學校ノ場合ニアリテハ其設立者ニ於テ前項ニ準シ知事ノ認可ヲ受クヘシ但前項第四號ノ事項ヲ具スルコトヲ要セス
- 尋常小學校ノ分教場ヲ廢止セントスルトキハ郡長ハ町村ノ意見ヲ聞キ其ノ事由ヲ具シ高等小學校ノ分教場ヲ廢止セントスルトキハ設立者ニ於テ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十一條 市町村立尋常小學校ノ校數ヲ指定セラレタルトキハ市町村長ニ於テ其ノ學校名及開校期日ヲ定メ遲滯ナク知事ニ開申スヘシ其ノ學校名ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二章 教科及編制

令二三
則一九
樣式參
照

- 第十二條 小學校令第二十三條第一項ニ依リ小學校ノ教科目ヲ加除シ又ハ同令第二十條第二項ノ教科目ヲ定メントスルトキ若ハ小學校令施行規則第十九條第一項ニ依リ每週教授時數ノ増減ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並教科目ノ每週教授時數ヲ具シ申請スヘシ
- 第十三條 小學校令第二十三條第二項ニ依リ補習科ノ設置ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ
- 一、修業年限、教授季節、教授日並教授時刻
 - 二、教科目、每週教授時數
 - 三、學級編制豫定表 (第一號) (樣式)
 - 四、校舎圖面 (第四條第一項第一號ノ例ニ依ル)
 - 五、收入支出豫算細目
 - 六、授業料額及其ノ徵收規則
- 前項第一號第二號第四號第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 補習科ヲ廢止セントスルトキハ市町村長ニ於テ其事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 (削除)

第十五條 小學校令施行規則第二十九條第二項ニ依リ制限超過ノ學級ヲ編制スルニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一、學級編制表 (第一號) 様式

二、教室圖面 (第四條第一項第一) 四號ノ例ニ依ル

三、市町村財政調 (第二條第一項第一) 二號ノ例ニ依ル

第十六條第十七條 (削除)

第十八條 小學校令施行規則第四十一條ニ依リ差出スヘキ學級ノ編制又ハ變更届ハ第一號表様式ニ依ルヘシ

第十九條 小學校令施行規則第五十二條ニ依リ補習科ノ教科用圖書ニ關シ知事ノ認可ヲ受ケントスルトキハ圖書名、著譯者、出版者、出版年月、卷冊ノ記號ヲ具シ申請スヘシ

第三章 學期、休業日及教授時數

第二十條 小學校令施行規則第二十五條第一項ニ依リ學年ヲ分チテ左ノニ學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ

小學校令施行規則第二十五條第二項ニ依リ學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第二學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第三學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二十一條 小學校令施行規則第二十七條ニ依ル休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、夏季休業日 (八月一日ヨリ) 三十一日間

二、冬季休業日 (十二月二十五日ヨリ) 十四日間

三、學年始休業日 (四月二日ヨリ) 五日間

四、學年末休業日 (三月三十一日) 一日間

五、産土神社大祭日 (七月二十六日ヨリ) 六日間

農繁等ノ爲特ニ必要アルトキハ管理者ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受ケ七日以内ニ於

則二九
様式參
照

學期、休
業日及
授時數

設備

テ學校全部又ハ一部ノ授業ヲ休ムコトヲ得
前項ノ事由ニ依リ小學校令施行規則第十九條ノ制限内ニ於テ教授時間ノ短縮ヲ爲
サントスルトキハ學校長ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
學校長ハ土地ノ情況ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受ケ夏季休業日ト冬季休業日トヲ繰
替フルコトヲ得
已ムヲ得サル事情ノ爲臨時休業ヲ爲サントスルトキハ管理者ニ於テ監督官廳ノ認
可ヲ受クヘシ

第二十二條 (削除)

第二十三條 小學校令施行規則第二十條ニ依リ學校長ハ豫メ監督官廳ニ届出テ夏季
休業日ノ前後各二十日以内ニ於テ毎日ノ教授時數ヲ減スルコトヲ得但シ尋常科第
一學年ハ二時間其ノ他ノ學年ハ三時間ヲ下ルコトヲ得ス

第二十四條 小學校令施行規則第二十四條ニ依リ授與スル卒業證書ハ第三號様式ニ
依ルヘシ

第四章 設備

第二十五條 小學校ノ校地校舍體操場ハ學校ノ規模ニ適應セシムヘシ小學校ニハ必
要ナル圖書、器械標本、器具及教育ニ關スル法規、帳簿ヲ具フヘシ

第二十六條 小學校令施行規則第七十六條ニ依リ校舍ヲ新築、増築、改築及模様替

則七六
樣式參
照

就學

チナサントスルトキハ其ノ事由並左ノ事項ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ但模様替
ニ關シテハ收入支出豫算表及第五號ノ事項ヲ具スヘシ

一、學級編制表 (第一號 様式)

二、將來増加スヘキ豫定學級數(三年後ノ見込數トス)

三、校地、校舍圖面 (第四條第一項第 四號ノ例ニ依ル)

四、町村財政調 (第二條第一項第 二號ノ例ニ依ル)

五、著手及竣工期日

前項ノ認可ヲ受ケタル後校地ヲ變更セントスルトキハ知事ニ著手及竣工期日ヲ變
更セントスルトキハ郡長ニ其ノ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ

第二十七條 前條ノ工事ヲ竣工シタルトキハ直ニ監督官廳ニ報告スヘシ

郡長ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ出來形ヲ檢閲シ其ノ狀況ヲ知事ニ報
告スヘシ但シ前條第二項ニ依リ變更ノ認可ヲ爲シタルモノハ報告ノ際其旨ヲ具ス
ヘシ

第五章 就學

第二十八條 市町村長ニ於テ小學校令施行規則第八十條及第八十一條ニ依リ學齡簿

ヲ整理スルニハ左ノ各號ニ依リ其ノ用紙ハ一人一葉トシ男女ニ區別シ生年月日ノ順序ニ從ヒ編製スヘシ

一、學齡簿(現在、就學、卒業、不就學、翌年四月(九月)就學ノ始期ニ達スル者ノ四種ニ區分編製ス)

二、除籍簿(學齡滿了(卒業、未卒業)、學齡期間内(轉居、行跡不明、死亡)等ニ區分編製ス)

第二十九條 市町村長ニ於テ小學校令施行規則第八十二條ニ依リ學齡兒童保護者ニ對シ兒童ノ入學スヘキ期日ヲ通知アルニハ第二號ノ甲號様式ニ依リ一月二十日

(秋期始學年ニ關シ)マテニ之ヲ爲スヘシ

學齡兒童保護者ニシテ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第二號ノ乙號様式届書ニ捺印シ一月末日(秋期始學年ニ關シ)マテニ市町村長ニ届出ツヘシ

第三十條 學齡兒童保護者ニシテ小學校令施行規則第八十四條ニ依リ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ヲ申立テントスルトキハ一月末日(秋期始學年ニ關シ)マテニ其ノ書面ヲ差出スヘシ

第三十一條 市町村長ニ於テ小學校令第三十三條ニ依リ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキハ癡癲、白痴、不具、疾病又ハ發育不完全ノ者ニ在リテハ醫師證明書寫、貧窮者ニ在リテハ其ノ戶主ノ市町村戸別割等級、市

町村費負擔額、其ノ生活狀態調及第四號様式ノ免除簿又ハ猶豫簿ヲ調製シ二月十五日(秋期始學年ニ關シ)マテニ差出スヘシ

學年ノ中途ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘキ兒童アルトキハ其ノ都度差出スヘシ

第三十二條 小學校令施行規則第八十三條ノ通知ハ第五號様式ニ依リ三月十五日(秋期始學年ニ關シ)マテニ之ヲ爲スヘシ

學校長ハ前項ノ通知ニ依ル兒童ニシテ其ノ期日マテニ入學セサル者アルトキハ期日後三日以内ニ市町村長ニ報告スヘシ

第三十三條 市町村長ハ小學校令第三十六條第一項但書ニ依リ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ認可シタルトキハ其ノ教授者ノ住所氏名生年月日及教授スル場所等ヲ詳記シ其ノ兒童ニ係ル學齡簿寫竝教授者ノ履歷書ヲ添ヘテ監督官廳ニ報告スヘシ

小學校令施行規則第八十七條ニ依リ前項ノ認可ヲ取消シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ監督官廳ニ報告スヘシ

第三十四條 小學校令施行規則第八十八條ニ依リ入學ヲ承認シタル兒童入學シタルトキハ其ノ入學ノ年月日ヲ記シ管理者又ハ學校長ヨリ兒童居住地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第三十五條 市町村立尋常小學校長ニ於テ小學校令施行規則第八十九條ニ依リ學籍簿ヲ整理スルニハ左ノ各號ニ依リ其ノ用紙ハ一人一葉トシ男女ニ區別シ學年別並生年月日ノ順序ニ從ヒ編製スヘシ

一、在學兒童學籍簿

二、卒業兒童學籍簿

三、除籍兒童學籍簿

(轉居、死亡、免除、猶豫等ニヨリ卒業セ)

(スシテ學校ヲ退キタル者ヲ編綴ス)

在學中ノ兒童ニシテ他ノ小學校ニ轉セントスル者アルトキハ學籍簿寫ヲ兒童保護者ニ交付スヘシ

他ノ小學校ヨリ轉セシ者アルトキハ從前在學セシ學校ノ學籍簿寫ニ依リ各事項ヲ記入スヘシ

第三十六條 市町村立高等小學校長ハ小學校令施行規則第八十九條ニ準シ學籍簿ヲ編製スヘシ其ノ學籍簿ノ整理順序ハ前條ニ準スヘシ

第三十七條 市町村立尋常小學校長ハ出席督勵簿並報告簿ヲ製シ小學校令施行規則

第九十一條及第九十二條ニ依リ報告又ハ通知ノ手續ヲナシタルトキハ其ノ顛末ヲ詳記スヘシ

第三十八條 市町村長ニ於テ小學校令施行規則第九十一條又ハ第九十二條ニ依リ學校長ノ報告ヲ受ケタルトキハ二日以内ニ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

小學校令施行規則第九十三條第二項ニ依ル督促ハ三日毎ニ之ヲ行ヒ尙就學又ハ出席セシメサルトキハ市町村長ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ報告スヘシ

市町村長ハ出席督勵簿並報告簿ヲ備ヘ前各項ノ顛末ヲ詳記スヘシ

第三十九條 市町村長ハ小學校令施行規則第九十六條ニ依リ尋常小學校ノ教科ヲ卒業スシテ退學若ハ廢學セシ者ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ就學セシムルノ手續ヲ爲スヘシ

教員檢定及免許狀

第六章 教員檢定及免許狀

第四十條 試驗檢定ハ毎年五月十月定期ニ之ヲ行ヒ又必要ニ依リ臨時ニ之ヲ行フ試驗ノ期日、場所及檢定ヲ行フ等科ハ豫メ之ヲ告示ス

第四十一條 小學校令施行規則第一百十三條各號ノ一ニ該當スル者ハ隨時試驗檢定ヲ請フコトヲ得

第四十二條 小學校教員檢定試驗科目中左ノ科目ハ一科目以上ヲ選ミ檢定ヲ請フヘシ

一、小學校本科正教員手工、農業、商業

二、小學校准教員音樂、手工、農業、商業

尋常小學校准教員ノ檢定試驗科目中唱歌ハ之ヲ缺キ檢定ヲ請フコトヲ得

第四十三條 小學校教員ノ檢定ヲ請フ者ハ第六號甲號様式ノ願書ニ第六號乙號様式

ノ履歷書第六號丙號様式ノ身體檢查書ヲ添ヘ市町村長ノ證明ヲ受ケ郡市長ヲ經テ差出スヘシ

郡市長ニ於テ前項ノ書類ヲ進達スルトキハ小學校令施行規則第一百五條ニ依リ本人ノ性行ニ就キ副申スヘシ

第四十四條 本縣師範學校小學校正教員講習科ヲ修了シタル者ノ試験檢定ハ當該學校長ノ申請ニ依リ之ヲ行フ

師範學校長ニ於テ前項ノ申請ヲサントスルトキハ講習生ノ氏名、生年月日、住所及修了試験ノ成績ヲ具スヘシ

第四十五條 正教員ノ檢定ヲ請フ者ハ金壹圓准教員ノ檢定ヲ請フ者ハ金五拾錢ヲ檢定手数料トシテ願書ニ添ヘ納付スヘシ

既ニ納付シタル檢定手数料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四十六條 小學校令施行規則第二百十條ニ依リ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願ス者ハ金貳拾錢ヲ手数料トシテ願書ニ添ヘ納付スヘシ

第四十七條 試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試験ニ合格セサルモ某學科目ニ關シ成績佳良ナル者ニハ其ノ學科目ニ對シ證明書ヲ授與ス

學校長及
教員ノ進
退

第七章 學校長及教員ノ進退

第四十八條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職ヲ命ス

一、傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルニ因リ職務ヲ行フニ妨アルトキ

二、學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ

三、教員養成ヲ目的トスル官公立學校ニ入學スルトキ

四、刑事事件ニ關シ告訴又ハ告發セラレタルトキ

第四十九條 前條休職ノ期間ハ前條第一項第一號第二號ノ場合ニ在リテハ一箇年トシ前條第一項第三號ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月トシ前條第一項第四號ノ場合ニ在リテハ其ノ事件ノ裁判所ニ繫屬中トス

第五十條 市町村立小學校准教員又ハ代用教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退職ヲ命ス

一、不具廢疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ

二、傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ

第五十一條 市町村立小學校准教員又ハ代用教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職トス

一、當該學校ノ廢セラレタルトキ

二、陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ

三、休職期間滿了シタルトキ

則一二
式參照樣

第五十一條ノ二 市町村立小學校代用教員ニシテ學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキハ退職ヲ命ス

第五十一條ノ三 市町村立小學校准教員又ハ代用教員ニシテ第四十八條又ハ第五十條第五十一條ノ二ノ事由ニ依ラス休職又ハ退職ヲ命スル必要アリト認めタルトキハ特別ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第五十二條 小學校令施行規則第二百二十三條及前條第一項第二號ニ該當スルモノハ入營者ハ應召ノ月日等ヲ具シ知事ニ届出ツヘシ

第五十三條 小學校令施行規則第三百二十二條ニ依リ私立小學校長及教員ヲ任用シ又ハ解職シタルトキハ其ノ職名、氏名、年月日、本人履歷書(任用ニ限ル)ヲ具シ知事ニ届出ツヘシ

第八章 學校長、教員ノ職務及服務

學校長、
教員ノ職
務及服務

第五十四條 教員ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ校務ヲ分掌シ且教授細目ニ依リ教案ヲ作製スヘシ

第五十五條 學校長事故アルトキハ上席教員其ノ職務ヲ代理スヘシ

第五十六條 學校長及教員ハ始業時刻二十分前ニ出勤シ終業時刻後其ノ日並翌日ノ要務ヲ處理シテ退出スヘシ

第五十七條 學校長及教員左ノ事由ニ依リ出勤シ難キトキハ日數ヲ豫定シ擔任ノ教授及事務ノ要件ヲ具シ學校長ハ學校ニ通告シ教員ハ學校長ニ届出ツヘシ

- 一、傷疾、疾病、父母ノ病氣看護
- 二、交通遮斷
- 三、父母ノ祭日
- 四、徵兵検査又ハ簡閱點呼、教育召集及勤務召集
- 五、官公署ノ召換

前項第一號ノ場合ニ於テ缺勤七日ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ郡市長ニ届出テ爾後十日毎ニ前段ノ手續ヲナスヘシ

第五十七條ノ二 女教員ノ産前産後ニ於ケル休養ハ左記各號ニ依ルヘシ

- 一、醫師ノ診斷ニ依ル分娩豫定日前二週間
- 二、分娩ノ日ヨリ五週間以内但シ五週間ヲ越エ尙執務ニ支障アル場合ハ更ニ一週間
- 三、流産及早産ノ場合ハ醫師ノ必要ト認ムル期間休養ヲナスコトヲ得但シ其ノ期間ハ五週間ヲ越エルトコトヲ得ス

前項各號ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ郡市長ニ届出ツヘシ但シ第一號第二號ノ場合ニ於テ特別ノ事情アル時ハ産婆ノ證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十八條 市町村立小學校長ハ教員ノ勤務並生徒ノ出席ヲ調査シ翌月五日マテニ郡市長ニ差出スヘシ

第五十九條 市町村立小學校長及教員ニシテ第五十七條ノ外私事ノ故障ニ依リ其ノ職務ヲ離レ又ハ職務上居住スヘキ地ヲ離レントスルトキハ郡市長ノ許可ヲ受クヘシ

休業中居住地ヲ離レントスルトキハ其ノ旅行地及日數ヲ具シ教員ハ學校長ニ學校長ハ郡市長ニ届出ツヘシ

第六十條 市町村立小學校長及教員ノ忌引届ハ郡市長ニ差出スヘシ

第六十一條 市町村立小學校長ノ出張並ニ教員ノ縣外出張ハ郡市長之ヲ命シ教員ノ縣内出張ハ學校長之ヲ命ス

第六十二條 市町村立小學校長及教員ニ任用セラレタル者又ハ轉任ヲ命セラレタル者ハ辭令書ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ出發シ著任ノ上ハ辭令書接受ノ月日、著任ノ月日ヲ具シ郡市長ニ届出ツヘシ但シ己ムヲ得サル事情アリテ期限内ニ赴任シ難キトキハ其ノ事由ヲ具シ新任地郡市長ノ許可ヲ受クヘシ

第六十三條 市町村立小學校長及教員轉任、退職、休職ノトキハ教員ニアリテハ學校長ニ學校長ニ在リテハ後任者ニ校務ヲ引繼ヲ爲シ雙方運置スヘシ但シ學校長ノ引繼ヲ受クヘキ後任者ナキトキハ上席訓導ニ引繼クヘシ

則一二
〇樣式
參照

俸給旅費及諸給與

第六十四條 學校長及教員族籍氏名等ニ變更ヲ生シタルトキハ知事ニ届出ツヘシ

第六十五條 市町村立小學校長及教員ヨリ官廳ニ差出ス文書ニシテ特別ノ場合ノ外ハ學校長ニ在リテハ管理者教員ニ在リテハ學校長及管理者ヲ經由スヘシ

第九章 俸給旅費及諸給與

第六十六條 教員ノ月俸額ハ左表ニ依ル但當分ノ内等級相當ノ額ヲ減シテ之ヲ支給スルコトアルヘシ

特別ノ事情アルトキハ代用教員ノ月俸額ハ其最高額ヲ超ヘ又ハ最低額ヲ減シテ支給スルコトアルヘシ

職名	一級		二級		三級		四級		五級		六級		七級		八級		九級		
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	
本科正教員	百八十円	百六十四円	百四十五円	百三十円	百二十円	百円	八十五円	七十円	六十五円	五十円	四十五円	三十五円							
專科正教員																			
	百二十円	百零四円	百零四円	八十円	七十円	六十円	五十円	四十円	三十五円										
	百四円	九十四円	七十五円	六十五円	五十五円	四十五円	三十五円												

准教員	上		下	
	空円	平円	平円	四十五円
	四十四	三十三	三十五	三十四
代用教員八圓以上六十圓以下				

第六十七條 一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ本科正教員ニ在リテハ二百四十圓

マテ專科正教員ニ在リテハ百六十圓マテ漸次増給スルコトアルヘシ

第六十八條 俸給ハ毎月二十一日ニ給ス但シ休日ニ當ルトキハ繰下ケトス

第六十九條 削除

第七十條 專科正教員ニシテ二以上ノ學校ニ勤務スルモノニ對シテハ其ノ俸給ハ關

係學校經費ヨリ分割支給スルコトアルヘシ

第七十一條 俸給ハ其ノ意ニ反シテ減スルコトナシ

第七十二條 休職者ニハ其休職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス但小學校令施行規則第二百二

十二條第三號乃至第五號及本規程第四十八條第三號ニ該當スルモノニ對シテハ之

ヲ給セス仍市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ其區ニ於テ特別ノ事情アリ

ト認メタルトキハ之ヲ給セサルコトアルヘシ

第七十三條 在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ前條ノ規定ヲ準用ス

第七十四條 陸海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受ケル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ

額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給ス

第七十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ給ス

一、懲戒ニ依リ免職ニ處セラレタルトキ

二、免許狀褫奪又ハ免許狀ノ失效ニ依リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第七十六條 新任、轉任、増俸、減俸共當月分ノ俸給ハ發布ノ翌日ヨリ日割計算ヲ

以テ給ス

第七十七條 休職、退職、免職ノモノ事務引繼ノ爲メ公務ニ從事シ翌月ニ涉ルトキ

ハ其ノ月分ハ日割計算ヲ以テ前職ノ俸給ヲ給ス

第七十八條 疾病若ハ懷妊又ハ出産ノ爲執務セサルコト六十日ヲ踰エ若ハ其ノ他ノ

事故ニ因リ執務セサルコト三十日ヲ踰エルモノニハ俸給半額ヲ減シ日割計算ヲ以

テ之ヲ給ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限リニ在ラス

一、許可ヲ得テ講習會ニ出席シ又ハ學事視察ヲナストキ

二、職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ

三、服忌ヲ受クルトキ

第七十九條 職務ノ爲受ケタル傷疾、忌引ノ場合ハ疾病、懷妊出産又ハ私事故障ト

連續スルモ減俸トナルヘキ缺勤日數中ニ算入セス又疾病、懷妊又ハ出産ト私事故

障ト連續スル場合ニ於テハ之ヲ通算セス

第八十條 俸給ノ日割計算ハ其ノ月ノ現日數ニ依リ錢位末滿ノ端數ハ之ヲ切り捨ツ

第八十一條 退職、休職、死亡ノトキハ當月分ノ俸給全額ヲ給シ第七十八條ニ依リ減給ノモノハ其減給ニ係ル當月分ノ全額ヲ給ス

第八十二條 廢校又ハ學校編制變更等ノ爲メ退職シタル者翌日任用セラレタルトキハ前職ノ俸給ハ退職當日マテテ後職ノ俸給ハ發令ノ當日ヨリ日割ヲ以テ支給ス

第八十三條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト休職中トニ拘ラス本職最終ノ俸給月額三ヶ月分ヲ其ノ遺族ニ交付ス

第八十四條 市町村立小學校教員ノ旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料、食卓料、赴任手當、移轉料及家族移轉料ノ九種トス

鐵道賃及船賃ハ大正九年九月縣令第四十五號ノ規定ニ準シ之ヲ支給ス但シ奏任待遇ノ正教員ニアリテハ同令第一條第一號其他ノ教員ニ在リテハ同第二號ノ額ニ依ル車馬賃、日當、宿泊料、食卓料ハ左表第一表、移轉料ハ同第二表ノ定額ニ據リ支給スルモノトス

第一表

種別	區別	車馬賃		日當	宿泊料	食卓料
		一里	二付	一日	一夜	一夜
正教員	奏任	縣内	五〇〇	二、〇〇〇	三、五〇〇	二、五〇〇
	待遇者	縣外	九〇〇	四、五〇〇	六、〇〇〇	

第二表

准教員	待遇者	判任		准教員	
		縣内	縣外		縣内
准教員		七五〇	二、四〇〇	三、六〇〇	二、〇〇〇
代用教員		三〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇
代用教員		六〇〇	一、七〇〇	二、八〇〇	

里程	正教員		准教員	
	奏任待遇者	判任待遇者	代用	教員
百里以上	六〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇		一六、〇〇〇
五十里以上	四〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇		一三、〇〇〇
五十里未滿	三〇、〇〇〇	一五、〇〇〇		一〇、〇〇〇

外國ニ旅行セシムル場合ノ旅費ハ管理者ニ於テ適宜金額ヲ定メ市立小學校教員ニ在リテハ知事、町村立小學校教員ニ在リテハ郡長ノ認可ヲ得テ之ヲ支給スル

コトヲ得

第八十四條ノ二 赴任ノ場合ハ赴任手當、移轉料及家族移轉料ヲ支給スルモノトス
 赴任手當ハ日當五日分宿泊料五夜分ニ相當スル金額、移轉料ハ前條第二表ノ定ム
 ル所ニ據ル、家族移轉料ハ家族一人毎ニ舊任地又ハ本人ノ住居地ヨリ新任地ニ至
 ル本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料、食卓料ノ全額及赴任手當ノ
 三分ノ二ニ相當スル金額トス但シ十二歳未満ノ家族ニ付テハ其ノ半額トス
 家族ノ數三人ヲ超過スルトキハ其超過スル者ニ支給スル家族移轉料ハ前項規定ニ
 依ル給額ノ半額トス
 本縣内ニ於ケル赴任ノ場合ニ支給スル赴任手當、移轉料及家族移轉料ハ前各項ノ
 規定ニ依ル給額ノ半額トス
 同一郡市内ニ於ケル赴任ノ場合ニ支給スル赴任手當、移轉料及家族移轉料ハ前項
 ノ規定ニ依ル給額ノ半額トス
 赴任者ノ居住地ヲ變更セサルトキハ移轉料及家族移轉料ヲ支給セス
 赴任者赴任後一年以内ニ其家族新任地ニ移轉セサルトキハ家族移轉料ヲ支給セス
 第八十四條ノ三 家族移轉料ヲ支給スル場合ニ於ケル家族トハ本人ト同一戸籍内ニ
 在ル家族ニシテ赴任者カ扶養セル者ヲ謂フ
 第八十五條 學科ノ研究、講習又ハ兒童修學旅行等ノ爲メ旅行スルトキハ前條ニ依

ラス特ニ支給スルコトアルヘシ

前項旅費額ハ町村ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受ケ一日給額貳圓以上ニ於テ之ヲ定ム
 ヘシ但シ其給額前條ニ依ル旅費額ヨリ多キトキハ前條ノ額ニ依ルモノトス

第八十六條 本令ニ規定セサルモノハ大正九年九月縣令第四十四號公立學校職員旅
 費規程ヲ準用ス

第八十七條 小學校令施行規則第五百十九條ニ依リ手當ヲ受クル者全月執務セサル
 トキハ當月分ノ手當ハ之ヲ支給セス

第八十八條 手當金ハ毎月二十五日之ヲ給シ新任、轉任、増給、減給ノ場合ハ發令
 ノ當日ヨリ退職、休職ノ場合ハ發令ノ當日マテ其ノ月ノ現日數ニ依リ日割計算ヲ
 以テ支給ス但シ錢位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

前項ノ手當金支給ハ年額ハ十二分シテ之ヲ給シ且支給定日休日ニ當ルトキハ繰下
 ケ支給ス

第八十九條 (削除)
 第九十條 本章ノ規程ハ私立小學校ニ關シ適用セス

第十章 授業料

第九十一條 小學校令第五十七條ニ依リ市町村立尋常小學校ニ於テ授業料徴收ノ認
 可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

授業料

區長及其代理者ノ教育事務ノ幼稚園及小學校ニ種類スル各種學校

- 一、期限
- 二、授業料徴收ノ方法
- 三、町村財政調 (第二條第一項第(二)號ノ例ニ依ル)

第十一章 區長及其ノ代理者ノ教育事務

第九十二條 市町村又ハ町村學校組合ノ區長及其ノ代理者ハ市町村長又ハ町村學校組合長ノ指揮命令ヲ受ケテ區ニ屬スル國ノ教育事務ヲ補助執行スヘシ

第十二章 幼稚園及小學校ニ類スル各種學校

第九十三條 幼稚園保姆ノ檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第九十四條 小學校令施行規則第四百四條各號ノ一ニ該當スルモノハ保姆ノ檢定ヲ受ケルコトヲ得ス

第九十五條 試驗檢定ノ科目及其ノ程度左ノ如シ

- 一、修身 道德ノ要旨
- 一、教育 保育法ノ大要
- 一、國語 小學校教科用讀本ノ講讀並作文、習字
- 一、算術 整數、分數、小數、諸等數
- 一、圖畫 簡易ナル自在畫

- 一、唱歌 單音唱歌
- 一、體操 遊戲

第九十六條 保姆ノ無試驗檢定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ就キ之ヲ行フ

一、他府縣ニ於テ幼稚園保姆免許狀ヲ有スル者

二、女子高等師範學校保姆練習科ヲ卒業シタル者

三、其他相當ノ學力並幼兒保育ノ經驗ヲ有シ特ニ適當ト認ムル者

第九十七條 保姆ノ試驗檢定ヲ出願シタル者ニシテ某學科ニ關シ第九十五條ノ程度ト同等以上ノ學力アリト認メタルトキハ其ノ科目ノ試驗ヲ缺クコトアルヘシ

第九十八條 保姆ノ檢定ヲ出願スル者ハ檢定手數料五十錢ヲ納ムヘシ

第九十九條 保姆ノ檢定ニ關スル期日、場所、願書、履歷書、身體檢查書及檢定手數料並免許狀再渡又ハ書換ニ就テハ本規程第四十條第四十三條第四十五條第四十六條ノ規程ヲ準用ス

第一百條 市町村立幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校職員ノ服務ニ關シテハ第八章ノ規程ヲ準用ス

第一百一條 市町村立幼稚園職員ノ月俸額ハ八圓以上八十五圓以下トシ旅費額ハ小學校正教員ノ旅費額ニ依ル俸給旅費支給方法及諸給與ノ支給ニ關シテハ第九章ノ規程ヲ準用ス

附則

第二百二條 市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校職員ノ俸給旅費額及其ノ支給方法並諸給與ノ支給ニ關シテハ第九章ノ規程ヲ準用ス

第十三章 附則

第三百三條 本令ハ大正二年三月一日ヨリ施行ス

第四百四條 本令施行ノ際現ニ本令第六十六條規定ト同額ノ俸給ヲ受クル者ハ別ニ辭令書ヲ用ヒス同條金額相當ノ級俸ヲ受クルモノトス

第四百五條 從前ノ規程ニシテ本令ニ抵觸スルモノハ之ヲ廢止ス

何郡市何町村小學校學級編制表

大正 年 月 日施行

學級	年		計	童	教員資格氏名
	男	女			
第何學級高等科第何學年					小學校本科正教員 某
第何學級同 第何學年					小學校本科正教員 某
第何學級尋常科第何學年					尋常科正教員 某
第何學級同 第何學年					尋常科正教員 某
第何學級同 第何學年					代用教員 某
第何學級同 第何學年					代用教員 某

第二號樣式

入學通知書

<p>號甲</p> <p>右大正 年 月 日</p> <p>日何小學校ニ入學セシメラルヘカ候也</p> <p>市町村長 氏</p> <p>兒童氏名</p> <p>生年月日</p> <p>住所番地</p>	<p>號乙</p> <p>届書</p> <p>保護者宛</p> <p>住所番地</p>	<p>備考</p> <p>分教場ニ係ル分ハ別表ニ調製スヘシ</p> <p>二部教授ノ學級ハ特ニ表示スヘシ</p> <p>計</p> <p>小學校本科正教員</p> <p>尋常科正教員</p> <p>專科正教員</p> <p>代用教員</p> <p>何何何何</p> <p>人人人人</p>
---	---	--

兒童氏名
生年月日
右大正 年 月 日 御通知ノ通何小學校ニ入學セシムヘク候也
住所番地職業
保護者 氏 名 印
市町村長宛

第三號樣式

番號

卒業證書

校印

氏

名

生年月日

尋常小學校「高等小學校」(修業年限)ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス
年 月 日

熊本縣郡市(私立)何尋常(高等)(尋常高等)小學校長 氏 名 印

第四號樣式

大正何年熊本縣何郡市町學齡兒童就學義務免除簿(就學義務猶豫簿)

兒童氏名	生年月日	免除(猶豫)ノ事由	保護者ノ氏名	住所	職業
			兒童トノ關係		

第五號樣式

大正何年何月熊本縣何郡市町立小學校就學兒童通知簿

就學兒童ノ氏名及生年月日	住所	兒童保護者氏名及兒童トノ關係	住所	職業	入學前ノ經歷

第六號樣式

(甲號)

教員檢定願

(用紙場形野紙)

小學校(尋常小學校)本科(專科)正教員

(何學科ノ受験ヲ關ク、何學科ハ佳良證明ヲ有ス)

某儀頭書ノ教員志願ニ付無試験(試験)檢定ノ上免許狀授與相成度候也

熊本縣何郡何市町村番地居住
族籍

名 氏

生年月日

知事宛

何某ノ身分年齡賞罰ニ關スル件書面ノ通相違ナキコトヲ證明ス

市町村長 氏

名 氏

(乙號)

履歷書

(用紙場形野紙)

原籍何府縣郡市町村番地

現住所何府縣郡市町村番地

族籍何某男女兄弟姉妹或ハ戸主

氏

名 氏

生年月日

學業

何年月日 何學校卒業(又ハ何學年修業)

自何年月日
至何年月日

何所ニテ何學科修業(又ハ講習)
何學校教員免許狀受領(又ハ何證明書受領)

職

務

何年月日

何官又ハ何職ニ從事月俸何圓

何年月日

何々ニ依リ休職又ハ退職

何年月日

賞

何年月日何々ニ付何賞與ヲ受ク

何年月日

何々ニ付何罰ヲ受ク

右ノ通候也

右 氏

名 氏

(丙號)

身體檢查書

(用紙場形野紙)

何府縣市町村番地居住

族籍

氏

名 氏

生年月日

一、身長

二、體重

三、胸圍

四、發育概評

露光量違いの為重複撮影

- 五、榮養
- 六、脊柱
- 七、視力及屈折狀態 右左
- 八、色神
- 九、眼疾
- 一〇、聽力
- 一一、耳疾
- 一二、齒牙
- 一三、其他ノ疾病、異常

以上各項ハ大正九年文部省令第十六號學生々徒身體檢査規程ニ依リ記入スヘシ

醫師

氏

名

印

雜則

- 五、榮養
- 六、香柱
- 七、視力及屈折狀態 右左
- 八、色神
- 九、眼疾
- 一〇、聽力
- 一一、耳疾
- 一二、齒牙
- 一三、其他ノ疾病、異常

以上各項ハ大正九年文部省令第十六號學生々徒身體検査規程ニ依リ記入スヘシ

醫師 氏 名 印

目次

學校衛生	一二七
學校傳染病豫防規程	一二七
學校清潔方法	一三八
學校醫ノ資格及職務規程	一四一
檢定	一四四
小學校教員試驗檢定學科目	一四四
小學校教員檢定試驗受驗心得	一四五
小學校教員無試驗檢定內規	一四六
無試驗檢定出願履歷書樣式	一五三
其他	一五八
熊本縣立熊本圖書館規則	一五八
巡回書庫取扱手續	一六五

圖書館設立ニ關スル注意事項	一六六
公立圖書館準則	一六九
市町村立小學校教員加俸給與規程	一七九
市町村立小學校教員加俸令ノ僻障地小學校指定	一八二
教育資金使用ニ關スル規則	一八五
三大節賀表及言上様式	一九〇
視學特別任用令	一九二
公立學校職員席次	一九三
熊本縣社會教育職員職務規程	一九三
熊本縣教員互助會定款草案	一九六

雜 則

學 校 衛 生

學校傳染病豫防規程 (大正八年八月二十九日 文部省令第二十九號)

學校傳染病豫防規程

- 第一條 學校ニ於テ特ニ豫防スヘキ傳染病ノ種類左ノ如シ
- 第一類 痘瘡、實布埤利亞、猩紅熱、發疹室扶私、ペスト、赤痢、虎列刺、腸室扶私、バラチフス、流行性腦脊髄膜炎
 - 第二類 百日咳、麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、風疹、水痘
 - 第三類 肺喉頭其ノ他ノ機關ノ開放結核、癩
 - 第四類 トラホーム其ノ他ノ傳染性眼炎、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚病
- 前項ニ掲クル疾病ノ疑以症ニ對シテモ必要ニ依リ本令ヲ適用ス
- 第二條 學校長ハ兒童又ハ未成年ノ生徒力入學シタル場合ニ於テハ其ノ法定ノ種痘ヲ完了セシヤ否ヤテ調査シ未了者ニハ之ヲ受ケシメ又ハ保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシムヘシ
- 第二期種痘期ニ在ル在學中ノ兒童ニ關シ亦同シ
- 尋常小學校又ハ小學校ニ類スル各種學校ノ卒業證書、中學校豫科及高等學校豫科

ノ修了證書ニハ當該生徒兒童カ法定ノ種痘ヲ完了セシヤ否ヤヲ記入スヘシ

第三條 第一條ニ掲グル傳染病ニ罹リタル職員生徒兒童等ハ治療シタル後ニ非サレハ昇校スルコトヲ得ス但シ第三類中ノ肺喉頭以外ノ結核又ハ第四類ノ傳染病ニ在リテハ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタル者又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ非ス

第四條 職員生徒兒童等ニシテ第一類又ハ第二類ノ傳染病患者アル家ニ居住スル者又ハ該病毒ニ感染ノ疑アル者ハ豫防處置施行ノ狀況及其ノ他ノ事情ニ依リ學校醫ニ於テ傳染ノ虞ナシト認メタル後ニ非サレハ昇校スルコトヲ得ス

第五條 職員等學校内ニ於テ第一條ニ掲グル傳染病者又ハ其ノ疑アル患者若ハ其ノ死者ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ當該學校長ニ申告スヘシ

學校長ハ必要ト認ムルトキハ學校醫ヲシテ診斷セシメ左ニ掲グル處置ヲ爲スヘシ
一、第一類ノ傳染病ナルトキハ速ニ其ノ地ノ警察官吏又ハ市區町村長ニ通報シ消毒、隔離其ノ他適當ノ處置ヲ爲スヘシ

二、第二類ノ傳染病ナルトキハ患者ノ昇校ヲ停止シ消毒其ノ他適當ノ處置ヲ爲スヘシ

三、第三類ノ傳染病ナルトキハ肺喉頭以外ノ結核ニシテ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタル者又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ノ外ハ昇

校ヲ停止シ消毒其ノ他ノ適當ノ處置ヲ爲スヘシ

四、第四類ノ傳染病ナルトキハ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタル者又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ニ對シテ昇校ヲ許スヘシ
學校内ニ第一條ニ掲グル傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル物件アルトキハ之ニ對シテ消毒其ノ他相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第六條 學校内、學校所在地及其ノ近傍若ハ生徒兒童等ノ通學區域内ニ於テ第一類又ハ第二類ノ傳染病發生シ其ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外學校長ニ於テ全部若ハ其ノ一部ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ學校長ハ直ニ監督官廳ニ届出ツヘシ

第七條 學校所在地若ハ其ノ近傍ニ於テ第一類又ハ第二類ノ傳染病發生シタルトキハ其ノ狀況ニ依リ十分ナル消毒方法ヲ施行スヘシ

第八條 生徒兒童ノ通學區域内若ハ職員居住地ニ於テ第一類又ハ第二類ノ傳染病發生シ其ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ學校長ハ其ノ地域ヨリ通學スル生徒兒童及職員ノ昇校ヲ停止スルコトヲ得

前項ノ規定ハ第一類又ハ第二類ノ傳染病流行地ニ滞在シタル生徒兒童及職員等ニ對シ之ヲ準用ス
前二項ノ場合ニ於テハ學校長ハ直ニ監督官廳ニ届出ツヘシ

第九條 學校ノ寄宿舎ニ於テ第一類ノ傳染病發生シタルトキハ官立學校長又ハ地方長官ハ左ノ各號ニ依リ文部大臣ニ報告スヘシ

一、初發ノ場合ニハ病名、發病ノ日、患者數、疾病ノ經過、感染經路、發病以來ノ處置、將來執ラントスル處置、其ノ他參考トナルヘキ事項ニ就イテ遲滯ナク報告スヘシ

二、續發セル場合ニハ病名、發病ノ日(發病不明ノトキハ診斷決定ノ日)患者數、初發報告以外特ニ執リタル處置其ノ他參考トナルヘキ事項ニ就キ報告スヘシ但シ多數ノ患者連續發生スルトキハ即時報告スヘシ

三、前二項ノ患者轉歸ハ治療、死亡、其他(休學、退學等)ニ分チ報告スヘシ
第十條 本規程中學校醫ノ職務ハ學校醫ナキ時若ハ止ムヲ得サル場合ニ於テハ適宜他ノ醫師ヲシテ行ハシムヘシ

第十一條 傳染病ノ爲ニ閉鎖シタル學校若ハ其ノ舎室ハ再ヒ之ヲ使用スルニ先チ十分ナル清潔方法ヲ施行スヘシ
第十二條 消毒方法ノ要項左ノ如シ

- 一、消毒方法ハ左ノ五種トス
- イ、燒却
- ロ、蒸汽消毒

- ハ、煮沸消毒
- ニ、藥物消毒

ホ、日光消毒

二、燒却ニ適スルモノハ左ノ如シ
イ、傳染病患者若ハ死體ニ用ヒタル被服、寢具、布片、便器其ノ他ノ器具等ニシテ甚シク病毒ニ汚染シ消毒後再ヒ用ニ供スル見込ナキモノ

ロ、傳染病患者ノ吐瀉物其ノ他ノ排泄物及塵芥、動物ノ死體等
三、蒸汽消毒ニ適スルモノハ左ノ如シ
イ、被服、寢具、布片等總テ絹布、綿布、麻布、毛織物類及圖書類ノ一部

ロ、硝子器、陶器、磁器其ノ他鐵器製若ハ木製品類等ニシテ汽熱ニ堪フルモノ
四、蒸汽消毒ヲ施行スルトキハ左ノ各項ニ注意スルヲ要ス
イ、革類、革製品、漆器其ノ他ノ塗物類、護謨製品、護謨附品、糊附品、膠附品、毛皮、象牙、鼈甲、角ノ類ハ物品ヲ損スルヲ以テ蒸汽消毒ヲ避クヘシ

ロ、被服類ニ蒸汽消毒ヲ施スニハ豫メ袖中又ハ衣囊中ヲ檢索シ爆發又ハ發火シ易キ物品アルトキハ之ヲ取出スヘシ又消毒中他物ニ染色ノ虞アルモノ等ハ蒸汽消毒ヲ避クヘシ

ハ、蒸汽消毒ハ流通蒸汽ヲ用ヒ成ルヘク消毒器中ノ空氣ヲ驅逐シ一時間以上攝

氏百度以上ノ温熱ニ觸レシムヘシ

五、煮沸消毒ニ適スルモノハ圖書類ノ一部ヲ除キ三ニ掲ケタルモノニ同シ

煮沸消毒ハ消毒スヘキ物品ヲ全部水中ニ浸シ沸騰後三十分間以上煮沸スヘシ

六、藥物消毒ニ供スル藥劑並ニ其ノ用法ハ左ノ如シ

イ、石炭酸水(約三十三倍) 防疫用石炭酸三分、普通食鹽五分、水九十二分

石炭酸水ヲ製スルニ定量ノ防疫用石炭酸及普通食鹽ニ少量ノ水ヲ加ヘ攪拌

又ハ振盪シツ、徐々ニ水ヲ注キ定量ニ至ラシムヘシ

温湯ヲ用フレハ其ノ溶解殊ニ速ナリトス

石炭酸水ハ各種物件ノ消毒ニ適ス但シ使用ノ際ハ毎回振盪シ左ノ諸件ニ注意スヘシ

1、尿尿、吐瀉物其ノ他排泄物ニハ同容量ヲ加ヘ能ク攪拌シタル後二時間

以上放置スヘシ

2、器具、室内等ヲ消毒スルニハ擦拭又ハ擦布スヘシ

3、被服類ヲ消毒スルルニハ二時間以上浸漬スヘシ

ロ、「クレゾール」水「クレゾール」石鹼液

「クレゾール」水ヲ製スルニハ「クレゾール」石鹼液六分ニ定量ノ水ヲ加フヘシ

「クレゾール」水ハ各種物件ノ消毒ニ適シ其ノ用量及應用ハ石炭酸水ニ準スヘシ

ハ、昇汞水(約千倍) 昇汞一分、普通食鹽一分、水千分

昇汞水ヲ製スルニハ定量ノ昇汞及普通食鹽ヲ定量ノ水ニ溶解シ又ハ昇汞錠

(一錠中昇汞五瓦ヲ含ム) ナ一錠ニ付水約五百瓦ノ割合ニ溶解スヘシ昇汞水ハ猛毒ニシ

テ危険ナリ故ニ貯藏使用ノ際十分ニ注意ヲ加ヘ又昇汞錠ヲ用ヒサルモノニ

アリテハ「スカレット」又ハ「ゾイレフタシン」其ノ他適當ノ色素ヲ加ヘテ着

色シ一見識別シ易カラシムルヲ要ス但シ金屬製ノ器ニ貯藏スヘカラス

昇汞水ハ陶器、硝子器、木製器具又ハ室内ノ消毒ニ適ス

飲食用器具ノ消毒、飲料水ニ滲透スヘキ場所ノ消毒及金屬製品、尿尿、吐

瀉物其ノ他排泄物ノ消毒ニ用フヘカラス

ニ、生石灰 少量ノ水ヲ灌ケハ熱ヲ發シテ崩壊スルモノ

生石灰末 生石灰ニ少量ノ水ヲ加ヘテ粉末トナシタルモノ

生石灰末ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ吐瀉物其ノ他ノ排泄物、溝渠等ノ消毒ニ用

フヘシ

吐瀉物其ノ他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ少クモ其ノ容量五十分ノ一ヲ投シ能ク攪拌スヘシ

石灰乳(十倍) 生石灰一分
水九分

石灰乳ヲ製スルニハ一分ノ生石灰ニ九分ノ水ヲ徐々ニ加ヘ能ク攪拌スヘシ其ノ用量ハ吐瀉物其ノ他排泄物等ノ容量四分ノ一以上トス但シ石灰乳ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ使用ノ際ニハ毎回攪拌スルヲ要ス普通石灰ハ生石灰ヲ得ルコト能ハサル場合ニ限り代用トシテ其ノ倍量ヲ用フヘシ

ホ、格魯兒石灰水(二十倍) 格魯兒石灰五分
水九十五分

格魯兒石灰水ノ應用並用量ハ石灰乳ニ同シ但シ用ニ臨ミテ製スヘシ

ヘ、加里石鹼又ハ綠石鹼

加里石鹼又ハ綠石鹼三分ヲ熱湯百分ニ溶解シ使用ノ際ニハ加熱スルヲ要ス加里石鹼又ハ綠石鹼ハ不潔ナル木製器具、戸障子、床面等ノ消毒ニ適ス

ト、「フオルムアンデヒード」ハ「フオルマリソ」ヲ噴霧發生スシメ又ハ適當ノ裝置ニ依リ之ヲ發生セシムヘシ
「フオルムアルデヒード」ヲ使用セントスル際ハ左ノ諸件ニ注意スヘシ

1、氣密ニ閉鎖シ得ヘキ消毒函内又ハ戸扉窓孔等ヲ密閉シ得ヘキ室内ニ非サレハ之ヲ使用スヘカラス

2、消毒函又ハ室内ノ容積百立方尺ニ付「フオルマリソ」四十五瓦以上ヲ噴霧セシメ若ハ「フオルムアンデヒード」瓦斯十五瓦以上ヲ發生セシメ同時ニ約百瓦以上ノ水ヲ蒸發セシムルノ比例ヲ以テ處置シタル後七時間以上密閉シ置タヘシ

「フオルムアルデヒード」ハ左ノ消毒ニ用フルコトヲ得

(一)校舎、寄宿舎等ノ密閉シ得ル室内又ハ室内ニ定著セル器物等ニシテ他ノ消毒方法ヲ行フコト能ハサルモノ

(二)圖書類ノ一部、他ノ消毒方法ヲ行フコト能ハサル貴重品其ノ他ノ物件ニシテ其ノ内部ニ至ルマテ消毒方法ヲ施スノ必要ナシト認メタルモノ

チ、「フオルマリソ」水「フオルマリソ」一分
「フオルマリソ」水ハ用ニ臨ミ「フオルマリソ」一分ニ定量ノ水ヲ加ヘ製スヘシ

「フオルマリソ」水ハ器具、室内及衣類等ノ消毒ニ適ス其ノ用法ハ石炭酸水ニ準スヘシ尿尿吐瀉物其ノ他排泄物ノ消毒ニ用フヘカラス

七、日光消毒ハ曝露スルト共ニ十分ニ空氣ノ流通ヲ計ルヘシ

日光ノ強度、消毒物件ノ性質ニ依リ數時間乃至數日間繼續スヘシ
圖書類其ノ他ノ物品ニシテ二乃至六ノ消毒方法ヲ施行スルコト能ハサルモノ
ニ用フ

八、消毒方法ノ應用ニ當リテハ傳染病ノ種類ニ應シ概ネ左記各項目ニ據ルヘシ
イ、患者

傳染病患者治癒シタルトキハ全身入浴ヲ行ヒ衣服ヲ更メシムヘシ場合ニ依
リテハ溫濕布ヲ以テ拭淨シ入浴ニ代フルモ妨ナシ

ロ、死體
傳染病ノ死體ヲ棺ニ斂ムルニハ世ノ被服ニ石炭酸水「クレゾール」水若ハ昇
汞水ヲ十分ニ撒布シ又ハ石炭酸水「クレゾール」水若ハ昇汞水ニ浸漬シタル
布ヲ以テ包ミ又ハ石灰ヲ以テ填ツヘシ

ハ、看病人其ノ他病者ニ觸接シタル者

看病人其ノ他消毒方法ノ施行又ハ患者、死體、排泄物ノ運搬等ノ爲病者ニ
觸接シタル者ハ時々若ハ其ノ都度手足及衣服ヲ消毒シ入浴スヘシ手足ノ消
毒ニハ石炭酸水「クレゾール」水又ハ昇汞水ヲ用フヘシ

ニ、患者、死體等ノ運搬器
傳染病ノ患者、死體等ヲ運搬シタル駕籠、釣臺ノ類ハ使用後毎回石炭酸水
「クレゾール」水「フォルマリン」水又ハ昇汞水ヲ以テ擦拭スヘシ

ホ、便所、芥溜、溝渠等

傳染病患者ノ吐瀉物其ノ他排泄物ノ入りタル便所ノ糞池、肥料溜等ニハ生
石灰末、石灰乳若ハ格魯兒石灰水ヲ澆キ能ク攪拌スヘシ但シ便所ハ石炭酸
水「クレゾール」水又ハ「フォルマリン」水ヲ以テ消毒シタル後直ニ使用シ糞
便ハ一週間ノ後肥料ニ供セシムルコトヲ得

病者ニ汚染シタル土地ニハ石灰乳若ハ格魯兒石灰水ヲ澆キ消毒スヘシ
病者ノ混入シタル芥溜ニハ石灰乳若ハ格魯兒石灰水ヲ澆キ其ノ塵芥ハ燒却
スヘシ

病者ノ混入シタル溝渠ニハ生石灰末、石灰乳若ハ格魯兒石灰水ヲ澆クヘシ
ハ、圖書、衣服、器具、敷物等

傳染病患者ノ用ヒシ圖書、衣類、寢具並ニ其ノ病室ニ在ル諸器具又ハ看病
人及患者ニ接シタル者ノ衣類其ノ他病者傳染ノ虞アルモノハ各物件ノ種類
ニ從ヒ消毒方法ヲ施行スヘシ

ト、校舍

患者ノ居室其ノ他傳染病者ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル室内各部ハ石炭酸水
「クレゾール」水「フォルマリン」水又ハ昇汞水ヲ以テ拭淨スヘシ但シ戸扉窓
孔等ヲ密閉シ得ヘキ室内ニハ「フォルムアルデヒド」ヲ用フルコトヲ得

消毒後ハ日光ノ射入空氣ノ流通チ良クシ乾燥セシムルヲ要ス
チ、井戸、水槽等

傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル井戸、水槽等ニハ水量五十分ノ一ノ生石灰チ乳狀トナシテ投入シ能ク攪拌シタル後十二時間以上放置シ又ハ適當ノ裝置ニ依リテ熱蒸汽ヲ通シ三十分間以上沸騰セシムヘシ

第十三條 本令ハ之ヲ幼稚園ニ適用ス

學校清潔方法 (明治三十年一月十一日)

(文部省訓令 第一號)

清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法、定期清潔方法及浸水後清潔方法トス

甲 日常清潔方法

- 一、教室及ヒ寄宿舎ハ毎日人ナキ時ニ於テ先ツ窓戶ヲ開キ如露ヲ以テ少シク牀板及ヒ階段ヲ潤ホシ掃出シタル後濕布ヲ以テ建具校具等ヲ拭フヘシ但掃除ノ爲メニ室内ヲ潤ホスハ生徒ノ再ヒ之ニ入ルマテニ充分乾燥シ了ルヲ度トスヘシ
- 二、教室及ヒ寄宿舎ニハ其ノ人員ニ應シ紙屑籠ト少量ノ水ヲ盛レル唾壺トヲ備ヘ紙片其ノ他棄却物、ハス紙屑籠ニ投入シ痰唾ハ必ス唾壺ニ於テシ決シテ室内廊下等ニ放下セシムヘカラス
- 紙屑籠及ヒ唾壺ハ毎日之ヲ掃除スヘシ

- 三、寄宿舎内ニ於テハ戶外ニ於テ用フル履物ヲ禁スヘシ但止ムヲ得サル事情アリテ特ニ之ヲ許ストキハ適宜ノ方法ヲ設ケテ室内ノ不潔ニ陥ラサルコトヲ務ムヘシ
- 四、靴ノ儘昇降スル校舎ノ出入口ニハ人員ニ應シ靴拭ヲ備フヘシ
- 五、寢具ハ毎月少クトモ一回之ヲ日光ニ曝シ被覆衣等ハ務メテ洗濯セシムヘシ
- 六、便所ノ尿溝及ヒ注壁等ハ毎日一回水ヲ以テ洗ヒ園房ハ濕布ヲ以テ拭フヘシ
- 七、糞壺内ニハ防臭藥トシテ粗製過滿俺酸加里、粗製格魯兒滿俺(以上百倍乃)硫酸鐵、泥炭末、木炭末、乾燥土粉、灰等ヲ撒布シ期ヲ悠ラス汲取ラシムヘシ(至三百倍)
- 八、食堂、炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ハ時々窓戶ヲ開キテ空氣ヲ通シ、惡臭煙氣又ハ湯氣ノ鬱滯ナキヲ務メ且掃除ヲ怠ルヘカラス殊ニ食堂ニ於テハ每食前如露ヲ以テ牀面ヲ潤ホシ食後ニハ濕布ヲ以テ其ノ食卓等ヲ拭フヘシ
- 九、芥棄場ノ不潔物ハ期ヲ悠ラス搬送セシムヘシ
- 十、下水ハ常ニ疏通セシメ炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ノ下水ハ毎月少クトモ一回大掃除ヲ行フヘシ
- 十一、庭園、體操場、遊戯場、簷下、椽下等モ亦常ニ清潔ヲ保タシムヘシ

乙 定期清潔方法

- 定期清潔方法ハ毎年少クトモ一回夏休又ハ其他ノ長休ニ際シ之ヲ行フモノトス
- 十二、先ツ教室、寄宿舎内等ニ在ル机、腰掛、寢臺、戸棚等ヲ室外ニ出シ戸、障子窓懸等ヲ外シ敷物ヲ剥キタル後如露ヲ以テ牀板及ヒ廊下ヲ潤ホシ天井、四壁、牀板、廊下等盡ク之ヲ拭ヒ然ル後清水ヲ以テ洗拭スヘシ但汚染殊ニ甚シキ部分及ヒ器具等ハ熱湯汁若クハ石鹼水ヲ以テ洗拭スヘシ
 - 十三、簷下、牀下等モ手ノ届ク限り之ヲ掃ヒ外部ノ羽目及ヒ簷廻リハ龍吐水等ヲ以テ洗濯スヘシ
 - 十四、寢具、窓懸、敷物等ニシテ洗濯シ得ヘキモノハ之ヲ洗濯シ其ノ洗濯シ得ヘカラサルモノハ先ツ其ノ塵ヲ掃ヒ書籍、文具等ト共ニ數日之ヲ日光ニ曝シ刷掃スヘシ
 - 十五、器具、寢具等ハ總テ室ノ乾キタル後ニアラサレハ室内ニ持込ムヘカラス
 - 室ハ掃除後五日間以上窓戸ヲ開キテ空氣及ヒ日光ヲ通セシムヘシ
 - 十六、牀板、壁面等ニ虧隙アルモノハ此ノ際之ヲ填塞シ風拔穴、煙突等ノ塵煤ハ之ヲ除去スヘシ
 - 十七、浴室、洗面所、食堂、炊事場、生徒控所、雨中體操場、便所、下水、芥棄場等ニシテ破損アルモノハ此ノ際盡ク修理ヲ加ヘ且大掃除ヲ行フヘシ
- 丙 浸水後清潔方法

洪水ノ爲メ水害ヲ被リタル學校ハ開校前左ノ清潔方法ヲ施行スヘシ

- 十八、水ニ浸サレタル學校殊ニ寄宿舎ノ建具、牀板等ハ取外シテ空氣ヲ通シ且牀上ノ汚物泥土ヲ除去シ場合ニ依テハ焚火、火鉢等ヲ用ヒテ充分ニ乾燥セシムヘシ
- 十九、建具、牀板、校具、腰張等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ洗拭シタル後可成之ヲ日光ニ曝シ充分ニ乾燥セシムヘシ
- 二十、浸水ノ害ヲ被リタル井戸ハ必ス數回之ヲ浚渫シテ汚物ヲ除キ井戸側ハ清水ヲ以テ洗ヒ能ク水ノ澄ミタル後ニ之ヲ使用スヘシ但シ開校後一箇月ハ必ス其ノ水ヲ煮沸シテ飲用スヘシ
- 二十一、右ノ外定期清潔方法ニ掲ケタル各項ヲ適宜應用スヘシ

學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程

(大正九年二月二十一
日 文部省令第七號)

- 第一條 學校醫ハ醫師法ニ依ル醫師タルヘシ
- 第二條 學校醫ハ少クトモ毎月二回教授時間内ニ於テ其ノ擔當學校ニ到リ左ノ事項ヲ調査スヘシ但シ必要ニ應ジ調査事項ノ取捨ヲ行フコトヲ得
 - 一、校地、建物並設備ノ衛生ニ關スル事項
 - 二、校具ノ衛生ニ關スル事項
 - 三、教授衛生ニ關スル事項

- 四、運動ニ關スル事項
 五、職員生徒兒童ノ健康狀態
 六、病者、虛弱者、精神薄弱者等ノ監督養護ニ關スル事項
 七、清潔ニ關スル事項
 八、飲料水並食物ニ關スル事項
 九、其ノ他衛生上必要ナル事項
 臨時必要アル場合ニ於テ學校醫ハ管理者又ハ學校長ノ請求ニ依リ特ニ前項各號ノ全部又ハ一部ニ就キ調査スヘシ
- 第三條 學校醫ハ生徒兒童中病者、虛弱者、精神薄弱者ヲ發見シ若ハ學校長其ノ他ノ職員ヨリ之ニ關スル通知アリタルトキハ其ノ狀況ニ依リ一科目若ハ數科目ノ授業免除、就學猶豫、就學免除、休學、退學又ハ治療、保護、矯正等ヲ要スヘキコトヲ學校長ニ申告スヘシ
- 前項ノ異狀アル生徒兒童中就學猶豫、就學免除、休學、退學等ヲ要セサル者ニ對シ學校醫ハ繼續的ニ之ヲ監察スヘシ
- 第四條 學校醫ハ學校職員中學校衛生上注意ヲ要スル者ヲ發見シタルトキハ之ニ關シ必要ナル事項ヲ學校長ニ申告スヘシ
- 第五條 學校醫ハ學生生徒及幼兒身體檢查規程ニ依リ生徒兒童ノ身體檢查ヲ爲スヘシ

- 第六條 學校醫ハ學校傳染病豫防規程ニ依リ學校傳染病豫防ニ關スル事務ニ從事シ同規程第六條乃至第八條ノ場合ニ於テハ必要ナル事項ヲ學校長ニ申告スヘシ
- 第七條 學校醫ハ第三條第四條及第六條ニ掲ケタル場合ノ外學校衛生上必要ト認めタル事項ニ就キ管理者又ハ學校長ニ申告スヘシ
- 第八條 學校醫ハ學校衛生ニ關シ學校長ノ諮問ニ應シテ意見ヲ述フヘシ
- 第九條 學校醫ハ學校長ノ請求ニ應シ生徒兒童又ハ其ノ保護者等ニ對シテ衛生ニ關スル講話ヲナスヘシ
- 第十條 學校醫ハ其ノ調査シタル事項、執務ノ狀況、申告若ハ建議セル事項ニ就キ其ノ大要ヲ學校醫執務日誌ニ記入シ其ノ都度學校長ニ提出スヘシ
- 第十一條 學校醫ハ本令ニ掲グルモノノ外地方長官ノ命ヲ承ケ學校衛生ニ關スル職務ニ從事スヘシ
- 第十二條 本令ニ關シ必要ナル規則ハ地方長官之ヲ定ムルコトヲ得
- 附則
 本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治三十一年文部省令第六號及第七號ハ之ヲ廢止ス

檢定
小學校教員試驗檢
定學科目等

檢定

小學校教員試驗檢定學科目等 (大正十年五月五日 告示第百九十號)

小學校令施行規則第百十三條第一項第六號第七號及第二號該當者ニシテ小學校教員檢定出願ノ場合ニ於テ試驗施行スヘキ學科目並試驗施行セサル學科目左ノ通り相定ム

大正三年五月十七日告示第百一號ハ廢止ス

一、小學校令施行規則第百十三條第一項第六號第七號該當者ニハ左表學科目ノ試驗並ニ教授法ノ實地審査ヲ施行ス

前項教授法ノ實地審査ハ小學校本科正教員及尋常小學校本科正教員ノ檢定出願者ニ限り之ヲ施行ス

二、同條第一項第二號該當者中大正元年十一月以降本縣開設ノ尋常小學校本科正教員臨時講習會修了者ニシテ小學校本科正教員試驗檢定出願ノ場合ニ於テ該講習中成績優良ナル學科ニ對シテハ試驗ヲ施行セサルコトアルヘシ

資格	種類	學科	校種	員種	備考
中學校卒業者	小學校	正教員	尋常小學校	正教員	教育、音樂、數學、教育
	小學校	正教員	尋常小學校	正教員	音樂
	小學校	正教員	尋常小學校	正教員	音樂
	小學校	正教員	尋常小學校	正教員	音樂

小學校教員檢定試驗受驗者心得

小學校教員檢定試驗受驗者心得 (明治二十九年六月五日 告示第百十三號)

一、受驗者ハ總テ檢定委員ノ命令ニ從フヘシ若シ之ニ從ハサルモノアルトキハ檢定委員ニ於テ退場ヲ命シ試驗ヲ中止スルコトアルヘシ

高等女學校 本科卒業者	教育、國語及漢文、 文、數學、物理及化學、 博物	教育	教育	教育
高等女學校 補習科 卒業者	教育、 國語及漢文、 數學	教育	教育	教育
高等女學校 藝專修科及實 科高等女學校 卒業者		教育	教育	教育
明治三十二年文 部省令第三十四 號ニ依リ文部大 臣ニ於テ中學校 ト同等以上ト認 メタル實業學校 卒業者		教育	教育	教育

- 二、受験人ハ試験開始時限十分前ニ出頭スヘシ
- 三、受験者ハ鉛筆、毛筆、小刀、算盤、墨、硯ヲ携帯スヘシ其他ノ用具ヲ携帯スルヲ許サス
- 四、受験者ハ試験中途ニシテ退場スルヲ許サス
- 五、受験者ハ必ス答稿毎葉ノ始ニ等科、氏名及學科目名ヲ記シ數葉ニ渉ルトキハ一ニ、三ノ符號ヲ附スヘシ但答ヲナスコト能ハサルモノハ等科、氏名及學科目名ノミヲ記シテ出スヘシ
- 六、受験者ハ答稿ノ文字ヲ成ルヘク判明ニ書シ勉テ讀ミ易キ様注意スルヲ要ス
- 七、受験者ハ檢定委員ヨリ與ヘシ料紙ノ外ハ使用スルヲ許サス
- 八、受験者一旦答稿ヲ出セシトキハ再ヒ之ヲ返附セス
- 九、試験問題ノ意義ハ一切説明ヲ與ヘス
- 十、試験時間割ハ試験ノ初日控席ニ揭示スヘシ

小學校教員無試驗檢定內規 (大正十一年九月廿六日) (學第五六四五號)

第一章 小學校本科正教員

第一條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ小學校令施行規則第百七條第一項第一號乃至第五號ニ依リ小學校本科正教員ノ檢定ニ關シ無試驗合格トス

小學校教員無試驗檢定內規
小學校本科正教員

- 一、高等師範學校、女子高等師範學校又ハ教員養成ヲ目的トスル官立學校ヲ卒業シタル者
- 二、師範學校、中學校、高等女學校、教員免許狀ヲ有スル者及ヒ高等學校高等科教員免許狀ヲ有シ其ノ經歷上小學校ノ教科ヲ教授スルニ足ル學力アリト認ムル者
- 三、高等學校高等科、大學豫科ヲ卒ヘタル者又ハ高等女學校高等科全專攻科ヲ卒ヘタル者
- 四、中學校卒業者ニシテ尋常小學校本科正教員免許狀ヲ有シ二箇年以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者
- 五、明治三十二年文部省令第三十四號ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル實業學校其ノ他ノ學校卒業者ニシテ尋常小學校本科正教員免許狀ヲ有シ三箇年以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者但シ實業學校卒業者ニアリテハ地理、歴史ニ就キ相當補修ノ經歷アル者タルコト
- 六、高等女學校卒業者ニシテ尋常小學校本科正教員免許狀ヲ有シ三箇年以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者
- 七、實科高等女學校卒業者ニシテ尋常小學校本科正教員免許狀ヲ有シ五ヶ年以上

小學校教育ニ從事シ現ニ其職ニ在リテ成績佳良ナル者但地理、歴史、代數、幾何、物理、化學、博物ニ就キ相當補修ノ經歷アル者タルヘシ

八、前各號ニ該當セサルモ其經歷上之ト同等ノ實力ヲ有シ特ニ適任ト認メタル者
第二條 尋常小學校本科正教員又ハ小學校准教員免許狀ヲ有シ五ヶ年以上小學校ノ教育ニ從事シ小學校令施行規則第八條ノ試験科目及ヒ其ノ程度ニ準シ左記時數以上補修ノ經歷ヲ有シ現ニ其ノ職ニアリテ成績佳良ナル者ハ小學校令施行規則第七條第一項第六號ニ依リ小學校本科正教員ノ檢定ニ關シ無試験合格トス但シ裁縫習字ハ認定ニ依ル仍手工、農業、商業ノ三科目中二科目及英語ハ之ヲ欠クコトヲ得

修身	三十時	教育	百時	國語	五十時
英語	三十時	歴史	五十時	地理	五十時
算術	七十時	代數	三十時	幾何	三十時
博物	五十時	理化	七十時	法政經濟	三十時
圖畫	三十時	手工	三十時	音樂	三十時
體操	五十時	家事	三十時	商業	三十時
農業	三十時				

小學校准教員

第二章 小學校准教員

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ小學校令施行規則第七條第一項第四號第五號ニ依リ小學校准教員ノ檢定ニ關シ無試験合格トス

- 一、中學校高等女學校及明治三十二年文部省令第三十四號ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル實業學校其ノ他ノ學校卒業者ニシテ在學中教育科修了シタル者又ハ六十時間以上教育科ノ講習ヲ受ケタル者ニ在リテハ六箇月其ノ他ニ在リテハ一箇年以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者
- 二、前項ノ學校卒業者ニシテ陸海軍將校同相當ノ資格ヲ有シ六箇月以上小學校教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者
- 三、實科高等女學校卒業者ニシテ教育科修了者ニ在リテハ一箇年其ノ他ニ在リテハ一箇年半以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者
- 四、前各號ニ該當セサルモ其ノ經歷上之ト同等ノ實力ヲ有シ特ニ適任ト認メタル者

第四條 尋常小學校准教員免許狀ヲ有シ二箇年以上小學校教育ニ從事シ小學校令施行規則第九條ノ試験科目及其程度ニ準シ左記時數以上補修ノ經歷ヲ有シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者ハ小學校令施行規則第七條第一項第六號ニ依リ尋常小學校本科正教員ノ檢定ニ關シ無試験合格トス但シ裁縫ハ認定ニ依ル仍音樂、

小學校專科正教員

手工、農業、商業ノ内三科目ハ之ヲ欠クコトヲ得	修身	三十時	教育	五十時	國語	五十時
算術	七十時	歴史	三十時	地理	三十時	
理科	七十時	圖畫	三十時	音樂	三十時	
体操	三十時	手工	三十時	農業	三十時	
商業	三十時					

第三章 小學校專科正教員

- 第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ小學校令施行規則第七條第一項第一號乃至第五號ニ依リ小學校專科正教員ノ檢定ニ關シ無試験合格トス
- 一、師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者又ハ高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者但シ免許學科目ニ限ル
 - 二、文部省直轄學校ニ於テ其ノ學科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケ卒業シタル者
 - 三、裁縫科ニ就テハ高等女學校、全技藝專修科及實科高等女學校卒業者ニシテ在學中教育科ヲ修メタル者又ハ教育科ヲ修メタル者又ハ教育科ヲ修メタル高等女學校本科卒業者、全補習科卒業者及技藝專修科並實科高等女學校卒業者ニ在リテハ六ヶ月以上學校教育ニ從事シ成績佳良ナル者

尋常小學校本科正教員

- 四、家事科ニ就テハ高等女學校及實科高等女學校卒業者ニシテ在學中教育科ヲ修メタル者又ハ教育科ヲ修メタル高等女學校、全補習科卒業者及實科高等女學校卒業者ニ在リテハ六ヶ月以上學校教育ニ從事シ成績佳良ナル者
 - 五、明治三十二年文部省令第三十四號ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル實業學校卒業者ニシテ六十時間以上教育科ノ講習ヲ受ケタル者又ハ教育科ヲ修メサル同上學校卒業者ニアリテハ六ヶ月以上學校教育ニ從事シタル者但シ履修シタル實業科ニ限ル
 - 六、前各號ニ該當セサルモ其ノ經歷上之ト同等以上ノ實力ヲ有シ特ニ適當ト認メタル者第六條高等小學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有シ現ニ小學校教育ニ從事スル者ニシテ左ノ事項ノ一ニ該當スル者ハ小學校令施行規則第七條第一項第六號ニ依リ小學校專科正教員ノ檢定ニ關シ無試験合格トス
 - 一、免許スヘキ學科目ニ就キ五箇年以上學校ノ專科ノ教授ニ從事シタル者
 - 二、音樂、体操、裁縫、手工、農業、商業、家事、圖畫、外國語ノ一科目若ハ教科目ニ關シ師範學校本科第一部ノ學科程度ト同等以上ノ程度ニ於テ之ヲ教授スル學校ノ卒業者但シ免許スヘキ學科目ハ卒業シタル科目ニ限ル
- 第四章 尋常小學校本科正教員
- 第七條 左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ小學校令施行規則第七條第一項第四號第五

號ニ依リ尋常小學校本科正教員ノ檢定ニ關シ無試驗合格トス

一、中學校、高等女學校及明治卅二年文部省令第三十四號ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル實業學校卒業者ニシテ在學中教育科修了シタル者又ハ六十時以上教育科ノ講習ヲ受ケタル者ニ在リテハ一ケ年其他ニ在リテハ二ケ年以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其職ニ在リテ成績佳良ナル者

二、前項ノ學校卒業者ニシテ陸海軍將校同相當ノ資格ヲ有シ一ケ年以上小學校教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者

三、實科高等女學校卒業者ニシテ教育科修了者ニ在リテ二ケ年其ノ他ニ在リテハ三ケ年以上小學校ノ教育ニ從事シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者

四、前各號ニ該當セサルモ其經歷上之ト同等ノ實力ヲ有シ適任ト認メタル者

第八條 小學校准教員又ハ尋常小學校准教員ノ免許狀ヲ有シ五ケ年以上小學校教育ニ從事シ小學校令施行規則第百一十一條ノ試驗科目及其ノ程度ニ準シ左記時數以上補習ノ經歷ヲ有シ現ニ其ノ職ニ在リテ成績佳良ナル者ハ小學校令施行規則第百七條第一項第六號ニ依リ尋常小學校本科正教員ノ檢定ニ關シ無試驗合格トス但裁縫ハ認定ニ依ル仍音樂ハ之ヲ欠クコトヲ得

算術 百時
修身 三十時
教育 百時
國語 七十時
歷史 五十時
地理 五十時

尋常小學校准教員

無試驗檢定出願履歷書樣式

理科 百時
體操 五十時

第五章 尋常小學校准教員

第九條 中學校、高等女學校、高等女學校技藝專修科、實科高等女學校及明治三十二年文部省令第三十四號ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル實業學校卒業者ハ小學校令施行規則第百七條第一項第四號第五號ニ依リ尋常小學校准教員ノ檢定ニ關シ無試驗合格トス

第十條 三ケ年以上小學校代用教員ノ職ニ在ル者及在リシ者ニシテ成績佳良ナル者ハ小學校令施行規則第百七條第一項第六號ニ依リ尋常小學校准教員ノ檢定ニ關シ無試驗合格トス

無試驗檢定出願履歷書樣式

履歷書

住所族籍「原籍及現住地ヲ列記スヘシ」
現職名

氏

名

何年何月生

學業

小學校教員並幼稚園員
出願ノ件
出スヘキ
身體検査
書ノ件
小學校教員並幼稚園員
出願ノ件
出スヘキ
身體検査
書ノ件

正教員又ハ小學校准教員免許狀受領ノ後ニ於テ小學校本科正教員試験科目及其ノ程度以上ニ依リ補修シタルモノニ限リ記載スルコト

二、取調書乙號ニ添付スヘキ履歷書ノ學業欄中講習ニ關スル事項ハ小學校准教員又ハ尋常小學校准教員免許狀受領ノ後ニ於テ尋常小學校本科正教員試験科目及其ノ程度以上ニ依リ補修シタルモノニ限リ記載スルコト

三、賞罰欄ニハ年末給與等ノ如キ恒例ノモノハ之ヲ省略シ特ニ著シキモノニ限リ記載スルコト

四、學科補修ノ時數ハ年月數欄ニ各學科目別ニ記入スルコト

小學校教員並幼稚園保母ノ檢定出願ニ關シ差出スヘキ身體検査書ノ件 (大正二年七月十五日 告示第四百五十二號)

小學校教員並幼稚園保母ノ檢定出願ニ關シ小學校令施行規程第四十三條第九十九條ニ依リ差出スヘキ身體検査書ハ學校醫ノ調製シタルモノタルヘシ

小學校教員試驗檢定出願ノ件 (明治三十三年十月十二日 告示第四百六十九號)

本年文部省令第十四號小學校令施行規則第百十三條ノ各號ニ該當スルモノニシテ試験檢定ヲ請フモノハ隨時出願スルコトヲ得

檢定手数料ニ關スル件

檢定手数料ニ關スル件 (明治二十五年五月廿七日 訓令第百二十二號)

本年四月縣令第三十五號小學校教員檢定細則第二條及同第三十六號幼稚園保母免許規則第四條ニ依リ上納スル檢定手数料ハ他ノ地方稅雜入ト同シク郡役所ニ於テ收納シ其願書ハ檢定手数料納入濟ノ記號ヲ付シテ進達スヘシ

其他

熊本縣立
熊本圖書
館規則

總則

其他

熊本縣立熊本圖書館規則 (大正十二年三月三十一日 縣告示第四百四十四號)

第一章 總則

- 第一條 本館ハ博ク内外古今ノ圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閱覽ニ供スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本館ノ開閉ハ日ノ長短ニ從ヒ之ヲ定メ其都度揭示ス
- 第三條 本館ノ閉館日ハ左ノ如シ但シ臨時ノ閉館ハ其都度之ヲ揭示スヘシ
 - 一、館内掃除 毎月第一日
 - 二、歳首 一月一日ヨリ同五日マテ
 - 三、紀元節 二月十一日
 - 四、曝書期 九月十六日ヨリ同三十日マテ
 - 五、天長節 八月三十一日、十月三十一日
 - 六、歳末 十二月二十八日ヨリ同三十一日マテ
- 第四條 本館ニ功勞アル者及館長ニ於テ必要ト認メタル者ニハ優待券ヲ贈與ス
- 第五條 優待券ヲ所持セル者及館長ノ特許ヲ得タル者ハ特別室ニ於テ閱覽スルコトヲ得

評議員

閱覽心得

第六條 年齡十二年未滿ノ者及帶醉者其他館内ノ風紀靜肅ヲ害スルノ虞アリト認ムル者ハ登館ヲ許サス但年齡七年以上十二年未滿ノ者ノ爲ニハ別ニ兒童室ニ於テ一定ノ圖書ヲ閱覽ニ供ス

第二章 評議員

- 第七條 本館ノ經營ニ關シ諮問スル爲メ評議員若干名ヲ置ク
- 第八條 評議員ハ知事之ヲ囑託ス
- 第九條 評議員會ハ必要ニ應シテ知事之ヲ召集ス

第三章 閱覽心得

- 第十條 本館ノ圖書ヲ借覽セントスル者ハ閱覽請求券ニ書名、冊數、函號、番號、及住所氏名ヲ記入シ係員ニ差出シテ圖書ヲ借受ケ退館セントスルトキハ其ノ借受クタル圖書ヲ返納スヘシ但暫時外出ノ必要ヲ生シタル者ハ其旨ヲ出納所ニ申出テ係員ノ承認ヲ經ヘシ
- 第十一條 圖書ハ必ス所定ノ閱覽室ニ於テ之ヲ閱覽スヘシ
- 第十二條 館内ニ於テハ音讀雜誌其他喧噪ニ涉ルコトヲ許サス
- 第十三條 閱覽人ニ貸與スル圖書ハ同時ニ三種以內トス但シ兒童ニハ三冊ヲ定限トス
- 第十四條 借覽中圖書ヲ紛失汚損又ハ毀棄シタルトキハ本館指定ノ現品若クハ相當

ノ代金ヲ以テ乙チ辨償セシム

前項辨償ノ義務ヲ了セサル者ハ本館ノ圖書ヲ借覽スルコトヲ許サス

第十五條 閱覽人ニシテ本館ノ規則又ハ揭示ニ違背シ若クハ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ直ニ退館ヲ命シ且ツ登館ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

圖書寄贈

第四章 圖書寄贈

第十六條 圖書ヲ寄贈セントスル者ハ書名、員數、價格及住所、氏名ヲ詳記シテ本館ニ差出シ許諾ヲ得タル上現品ヲ送致スヘシ

第十七條 寄贈ノ圖書ニハ寄贈者ノ氏名、寄贈年月ヲ標記シ永ク其ノ好意ヲ表スルモノトス

第十八條 圖書ノ寄贈ニ要スル運送料等ハ寄贈者ノ負擔タルヘシ但時宜ニ依リ本館ニ於テ支辨スルコトアルヘシ

圖書委託

第五章 圖書委託

第十九條 公衆ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ本館ニ圖書ノ保管ヲ委託セント欲スルモノハ委託願書ニ其目錄、員數、價格及住所氏名ヲ詳記シテ本館ニ差出シ本館ノ許諾ヲ得タル上現品ヲ送致スヘシ

第二十條 委託圖書ニ對シテハ本館ヨリ受託證ヲ交付スヘシ

第二十一條 委託圖書ハ本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスヘシ但委託者ニ於テ特ニ指定シタルモノハ館外ニ携出セシメサルモノトス

第二十二條 委託圖書ハ委託者ノ請求ニ依リ隨時返付スヘシ

第二十三條 圖書委託及返付ニ要スル運送料ハ委託者ノ負擔タルヘシ時宜ニ依リ本館ニ於テ支辨スルコトアルヘシ

圖書携出

第六章 圖書携出

第二十四條 熊本縣下ニ住スル左記ノ者ハ本館ノ圖書ヲ携出スルコトヲ得

一、本館ヨリ贈與シタル優待券ヲ有スル者

二、直接國稅三圓以上ヲ納ムル成年者ニシテ館長ニ於テ身元確實ト認めタル者

三、官吏公吏及官公立學校職員

四、滿十七年以上ニシテ前各號ノ一ノ資格ヲ有スル保證人ヲ設クル者

五、評議員ニ於テ紹介シタル者

館長ニ於テ必要ト認めタル場合ニハ前項ノ資格ニ拘ラス一時限リ携出ヲ特許スルコトヲ得

第二十五條 本館ノ圖書ヲ携出借覽セムトスルモノハ圖書携出手續ニ依リ特許證ノ附與ヲ請フヘシ但本館ヨリ贈與シタル優待券ヲ有スルモノハ此限ニアラス

第二十六條 貴重ノ圖書、辭書、目錄類ハ携出スルコトヲ許サス其他通常ノ圖書タリトモ本館ノ都合ニ依リ携出ヲ許サ、ルコトアルヘシ

巡回書庫

第二十七條 圖書携出ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 巡回書庫

第二十八條 本館ニ巡回書庫ヲ設ケ公立圖書館又ハ縣立學校ニ廻附シ閱覽ノ便ニ供スルコトアルヘシ

縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ廻附ヲ受ケントスルトキハ先ツ閱覽ニ關スル細則ヲ添ヘテ廻附ヲ請求スヘシ

第二十九條 巡回書庫ハ廻附ヲ受ケタル縣立學校長又ハ公立圖書館長之ヲ管理シテ閱覽セシムヘシ而シテ閱覽ノ成績ヲ本館ニ報告スヘシ

第三十條 巡回書庫ノ使用期限ハ公立圖書館ニ在リテハ四箇月以内、縣立學校ニ在リテハ一學期間以内トス

第三十一條 縣下ニ設置セル私立圖書館、學校又ハ團體ニシテ其管理確實ト認メタルモノニ限リ縣立學校、公立圖書館ニ準シ巡回書庫ヲ廻附スルコトアルヘシ

第三十二條 巡回書庫ノ廻附ニ要スル費用ハ廻附ヲ受ケタル縣立學校及公立圖書館ノ負擔トス但シ公立圖書館ニ限リ當分ノ内本館ニ於テ支辨スルコトアルヘシ

第三十三條 巡回書庫ノ閱覽人ニシテ圖書ヲ紛失、汚損又ハ毀棄シタルトキハ當該管理者ハ第十四條ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第三十四條 巡回書庫取扱手續ハ別ニ之ヲ定ム

熊本圖書携出手續

熊本縣立熊本圖書館圖書携出手續

(大正二年四月二十六日 縣告示第二百六十五號)

第一條 本館規則第二十五條ニ依リ特許證ノ附與ヲ受ケントスル者ハ左ノ書式ニヨリ願書ヲ差出スヘシ

特許證附與願

私儀貴館御規則ヲ遵守可致候ニ付圖書携出特許證御附與相成度保證人連署此段相願候也

年 月 日

保 證 人 氏

名 氏
年月日生
名 氏
年月日生

熊本縣立熊本圖書館長殿

第二條 携出圖書ハ一部又ハ二冊以内トス

第三條 貴重圖書、新著書、辭書類ハ携出スルコトヲ許サス

其他通常ノ圖書ト雖本館ノ都合ニ依リ携出ヲ許サ、ルコトアルヘシ

第四條 圖書携出ノ期間ハ十日以内トス尙引續キ借覽セントスル者ハ一旦返納シテ

更ニ借覽ノ手續ヲ爲スヘシ但借覽期中ト雖本館ニ於テ必要アル場合ハ隨時返納セシムルコトアルヘシ

第五條 圖書ヲ携出セントスルトキハ圖書携出借覽證書ニ當該事項ヲ記入シ特許證若クハ優待券ト共ニ係員ニ差出スヘシ

第六條 特許證ヲ有スル者本館規則第二十四條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ本人ニ於テ更ニ保證人ヲ設ケ定式ノ證書ヲ差出スヘシ

第七條 特許證ヲ有スル者他ノ地方ニ轉スルカ又ハ其他ノ事故ニヨリ爾後本館ノ圖書借受ヲ要セサルトキハ速ニ特許證ヲ返納スヘシ

第八條 特許證ヲ有スル者又ハ其ノ保證人住所ヲ轉シタルトキハ其前後ノ住所ヲ記シ速ニ届出ツヘシ

第九條 特許證ヲ遺失シタルモノハ速ニ届出更ニ其附與ヲ請フヘシ

第十條 第四條ノ圖書返納ヲ怠リ或ハ第六條ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後其特許證ヲ無効トシ其事情ニ依リ再ヒ之ヲ附與セサルヘシ

第十一條 第七條又ハ第九條ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後其姓名ヲ以テ携出シタル圖書ニ就テハ本人又ハ保證人其責ニ任スヘキモノトス

第十二條 借受タル圖書ヲ亡失若ハ汚損シタルトキハ本館規則第十四條ニヨリ處分ス若シ本人ニ於テ辨償スルコト能ハサルトキハ保證人ヲシテ其責ニ任セシム但其

巡回書庫取扱手續

事情ニ依リ特許證ヲ無効トシ且再ヒ之ヲ附與セサルコトアルヘシ
第十三條 本縣立學校ニ於テ教授參考ノ爲メ圖書ヲ携出セントスルトキハ當該學校長ノ申出ニ依リ本規定ノ手續ヲ省略シ三十日以内ヲ限リ特ニ携出セシムルコトアルヘシ

巡回書庫取扱手續(大正三年四月三日)
縣告示第四百四十六號

熊本縣立熊本圖書館規則第三十四條ニヨリ巡回書庫手續左ノ通定ム

巡回書庫取扱手續

第一條 本館ハ巡回書庫ノ發送又ハ交換期日ヲ定メ豫メ廻付ヲ受クヘキ縣立學校、公立圖書館ニ通知ス

第二條 縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケントスルトキハ廻付期日十五日前ニ本館ニ請求スヘシ引續キ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケントスル場合ニ於テモ前項ノ手續ヲナスニアラサレハ廻付ヲナサ、ルヘシ

第三條 縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ廻付ヲ受ケタルトキハ直ニ領收證ヲ本館ニ送付スヘシ

第四條 巡回書庫ノ廻付ヲ受ケタル縣立學校、公立圖書館ニ於テハ一定ノ閱覽所ニ於テ閱覽セシムル外適當ナル方法ニ依リ携出シ閱覽セシムルコトヲ得但閱覽所ニ於テ閱覽セシムルモノニハ閱覽請求簿ニ圖書ヲ携出セントスル者ニハ特許帶出借

覽證ニ其住所氏名及所要ノ書名冊數ヲ記入セシムヘシ

第五條 縣立學校、公立圖書館ニ於テ巡回書庫ノ使用ヲ了リタルトキハ期日ヲ違フコトナク閱覽請求簿及特許帶出借覽證ト共ニ本館ニ送付スヘク本館ニ於テ之ヲ受ケタルトキハ直ニ領收證ヲ送付スヘシ

第六條 縣立學校ニ於テ臨時必要ノ場合ハ本手續ニ依ラス圖書携出手續第十二條ニ依リ圖書ノ廻付ヲ請求スルコトヲ得

圖書館設立ニ關スル注意事項(明治四十三年二月十日 七日縣訓令甲第三號)

圖書館設立ニ關スル注意事項

第一、圖書館令ノ發布セラレシヨリ以來圖書館ノ設置ヲ企畫スルモノ多キヲ加フルノ狀アルハ洵ニ喜フヘキ現象ナリトス依リテ茲ニ圖書館ノ施設ニ關シ特ニ注意ヲ要スル事項ヲ掲ケ以テ大體ノ標準ヲ示サントス
圖書館ノ施設ハ規模ノ大小ニ應シテ取捨斟酌宜シキヲ得サルヘカラス通俗圖書館又ハ小學校ニ附設スル圖書館ノ類ハ施設其ノ宜シキヲ得ルトキハ小學校及家庭ノ教育ヲ裨補スル上ニ於テ其ノ效益尠少ニ非ルヘシ而シテ此ノ類ノ圖書館ニ在リテハ健全有益ノ圖書ヲ選擇スルコト最肝要ナリトス故ニ成ルヘク其ノ施設ヲ簡易ニシ主トシテ力ヲ有益ナル圖書ノ蒐集ニ用ヒシメンコトヲ要ス若シ夫レ相當ノ資力ヲ有シ完全ナル圖書館ヲ設立セントスルモノニ在リテハ地方ノ實況ニ應シテ成ルヘク此ノ標準ニ準據シテ適當ノ施設ヲ爲サシメ以テ十分ノ效果ヲ收メンコトヲ期セシムヘシ

圖書館設立ニ關スル注意事項

- 一、圖書館ハ學術研究ニ資スルト共ニ一般公衆ノ讀書趣味ヲ涵養シ其ノ風尙ヲ高メ其智徳ヲ進ムルノ用ニ供スルモノナレハ圖書館ノ種類目的ニ應シ適當ニシテ有益ナル書籍ヲ選擇蒐集センコトヲ要ス通俗圖書館ニ在リテハ殊ニ然リトス依テ其ノ蒐集スヘキ書籍ハ勿論其ノ寄贈ニ係ルモノ、如キモ一般公衆殊ニ青年兒童ノ閱覽ニ供スヘキ雜誌類ニ就キテハ十分取捨選擇ニ注意シ最モ健全ニシテ有益ナルモノヲ選ミテ閱覽用ノ書目ヲ調製スヘシ
- 一、數箇ノ圖書館ヲ有スル地方ニ於テハ成ルヘク毎年各圖書館主任者ノ會議ヲ開キ其ノ閱覽ニ供スヘキ圖書ノ種目ニ關シ標準ヲ議定スルヲ可トス
- 一、圖書館ハ單ニ其ノ地方ニ古來存在セル古書類ヲ收容シ又ハ寄贈ヲ受ケテ之ヲ閱覽セシムルニ止マラス常ニ有益ナル新刊圖書ノ増加ヲ圖リ館内ニ於テ閱覽ニ供スルハ勿論廣ク館外ニ貸出シ稍ヤ規模ノ大ナル圖書館ニアリテハ或ハ分館ヲ設ケ或ハ巡回文庫ノ制ヲ立ツル等成ルヘク地方一般ニ書籍ノ供給ヲ圖ラントトヲ要ス
- 一、圖書館ハ一般公衆ノ智識ヲ進メ修養ニ資スヘキハ勿論ナリト雖特ニ學校及家庭ト相待チ教育ノ效果ヲ收ムルコトニ務メ或ハ學校ト聯絡シテ教員ノ學科教授上ニ於ケル參考ニ供シ或ハ家庭ニ對シテ其ノ子弟ノ閱讀スヘキ健全ナル頁

書ノ標準ヲ示シ以テ子弟ヲシテ幼時ヨリ陋劣ナル書籍ヲ手ニセサルノ習慣ヲ養成セシムヘシ

一、圖書館ハ土地ノ情况及讀者ノ種類ニ應シ適切ナル圖書ノ選擇ヲ爲ササルヘカラス例ヘハ工業地ニハ工業ニ商業地ニハ商業ニ農業地ニハ農業ニ關シ各必要ナル圖書ヲ供給スルカ如シ又其ノ所在地方ニ關スル圖書記録類並ニ其ノ地方人士ノ著述ヲ蒐集スルコト最肝要ナリトス

二、圖書館ヲ建設セントスルニ方リテ府縣廳所在地其他稍ヤ大ナル市街地ニ在リテハ其ノ敷地ハ主トシテ交通、風教、衛生上ノ諸方面ヨリ觀察シテ最モ適當ナル場所ヲ選ヒ其ノ建築ハ閱覽、管理、衛生上ノ便ヲ圖リ力メテ外觀ノ虚飾ヲ去リ質素堅牢ヲ旨トスヘシ而シテ土地ノ情況ニ依リ圖書館ノ敷地ヲ交通ノ便ナル所ニ求メ難キトキハ分館又ハ巡回文庫ノ制ニ依リ其ノ缺點ヲ補足スルヲ可トス

一、圖書館ノ設備ハ概ネ左ノ各號ニ依ルヘシ但簡易ナル圖書館並小學校等ニ附設スルモノハ此ノ例ニ依ルコトヲ要セス

一、圖書館ハ閱覽室、書庫及事務室ヲ區分スルヲ可トス其ノ他地方ノ必要ト經費ノ多少トニ應シ成ルヘク兒童室、婦人室、特別閱覽室、休憩室、製本室使了室等ヲ設クルヲ便トス

二、閱覽室ノ構造ハ主トシテ通風及採光ニ注意スヘク書庫ハ成ルヘク煉瓦造又ハ土藏造トシ廊下ヲ以テ閱覽室ニ接續セシメ點燈其ノ他必要已ムコトヲ得サル場合ノ外火氣ヲ其ノ内ニ入レサルヲ可トス書庫ノ天井ト床トノ距離ハ九尺乃至十尺トシ書函ト側壁トノ間隔及書函ト書函トノ間隔ハ共ニ約二尺五寸トシテ之ヲ通路ニ充ツルヲ可トス

三、器具ハ閱覽室用卓子、椅子、圖書出納臺、牌子目錄函、辭書臺、貸出目錄函ノ類ニシテ實際ノ必要ニ應シ成ルヘク之ヲ具備スルヲ可トス

四、帳簿目錄類ハ事務用トシテ圖書原簿、函架目錄、事務用牌子目錄、貸出牌子目錄等ニシテ閱覽用トシテ件名目錄、洋書著者目錄、同分類、和洋書書名錄、同分類等ニシテ實際ノ必要ニ應シ成ルヘク之ヲ具備スルヲ可トス而シテ目錄類ハ原簿、函架目錄ノ類ヲ除クノ外成ルヘク一般ニ牌子式ニ依リ帳簿記入式ニ依ラサルヲ便トス

公立圖書館準則 (大正五年五月五日 縣告示第二百十七號)

一 館則

第一章 總則

第一條 本館ハ博ク學術ノ研究ニ資スルト共ニ一般公衆ノ讀書趣味ヲ涵養シ其ノ風

尙チ高メ其ノ知識ヲ進ムルノ目的ヲ以テ各種ノ圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閱覽ニ供ス
第二條 本館ハ左記日時ヲ除クノ外毎日開館ス但臨時ノ開館閉館ハ其ノ都度之ヲ揭
示ス

- 一 歳首自一月一日至一月五日
 - 二 紀元節二月十一日
 - 三 曝書期九月又ハ十月中約五日間
 - 四 天長節祝日十月三十一日
 - 五 歳末自十二月二十八日至十二月三十一日
- 第三條 本館ノ開閉時限ハ左ノ如シ但必要ニ應シ之ヲ伸縮スルトキハ其ノ都度之ヲ
揭示ス

自一月	自四月	自九月	自十二月
一月	四月	九月	十二月
午前九時	午前八時	午前九時	午前九時
午後九時	午後九時半	午後九時	午後九時
開館		閉館	
日		日	

圖書閱覽

第二章 圖書閱覽

- 第四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ登館ヲ許サス
- 一 年齢七歳未滿ノ兒童
 - 二 館内ノ風紀及秩序ヲ紊亂スルノ虞アリト認めタル者
 - 三 傳染ノ虞アル疾病ニ罹レル者
 - 四 其ノ他館長ニ於テ不都合ナリト認めタル者
- 閱覽者中前項ノ一ニ該當スル者アルトキハ退館ヲ命ス
- 第五條 館長ニ於テ適當ト認めタル者ニハ優待券ヲ交付ス
優待券ハ圖書ノ携出ニ關シテハ圖書携出券ト同一ノ效力ヲ有ス
- 第六條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ閱覽票ニ指定ノ事項ヲ記入シ係員ニ差出シテ其
ノ借受ケヲ爲シ閱覽ヲ了シタルトキハ直ニ之ヲ返納スヘシ
- 本館所藏ノ貴重圖書ヲ閱覽セムトスル者ハ別ニ館長ノ特許ヲ得ルヲ要ス
- 第七條 圖書ノ閱覽ハ所定ノ閱覽室ニ於テ之ヲ爲スヘシ優待券ヲ有スル者及館長ノ
特許ヲ得タル者ハ特別閱覽室ニ於テ閱覽スルコトヲ得
- 第八條 借覽ニ係ル圖書ヲ亡失毀損シタル者ハ館長ノ指示ニ從ヒ現品若クハ相當代
價ヲ辨償セシム
- 前項ノ義務ヲ完了セサル者ニハ圖書ノ閱覽ヲ許サス

第九條 閱覽者中本館ノ規程ニ違背シ又ハ館員ノ指示ニ從ハサル者アルトキハ直ニ退館ヲ命シ其ノ情狀ニ依リ期間ヲ定メ又ハ定メスシテ登館ヲ禁止シ又ハ圖書ノ閱覽ヲ停止ス

第十條 同時ニ閱覽スルコトヲ得ヘキ圖書冊數ハ左記制限以內トス
普通閱覽者二種又ハ三冊以內
優待券ヲ有スル者三種又ハ五冊以內

第十一條 館内ニ於テハ專ラ靜肅ヲ旨トシ音讀、談話、喫煙其ノ他喧噪ニ涉ル所爲ヲ爲スコトヲ得ス

圖書寄贈

第三章 圖書寄贈

第十二條 圖書寄贈者ハ圖書名、員數、單價、住所及氏名ヲ記載シタル書面ヲ提出シ豫メ館長ノ許諾ヲ得現品ヲ送致スヘシ

第十三條 圖書ノ寄贈ニ要スル費用ハ寄贈者ノ負擔トス但時宜ニ依リ館費ヲ以テ之ヲ支辨スルコトアルヘシ

圖書委託

第四章 圖書委託

第十四條 公衆ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ本館ニ圖書ノ保管ヲ委託セントスル者ハ委託願書ニ圖書名、員數、單價、住所、氏名及委託期間及指定事項ヲ詳記シ館長ノ許諾ヲ得現品ヲ送付スヘシ

前項圖書委託者ニ對シテハ本館ヨリ預證ヲ交付ス

第十五條 圖書ノ委託ニ要スル費用ハ委託者ノ負擔トス但時宜ニ依リ館費ヲ以テ之ヲ支辨スルコトアルヘシ

第十六條 委託圖書ハ本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナス但委託者ノ指定ナキモノハ館外ノ携出ヲ許サス

第十七條 委託ヲ受ケタル圖書ハ委託期間ノ滿了又ハ本館ノ都合ニ依リ之ヲ返付スルモノトス

第十八條 委託ヲ受ケタル圖書天災其ノ他不可抗力ニ依リ亡失又ハ毀損シタルトキハ本館ハ其ノ辨償ノ責ニ任セス

第五章 圖書携出

第十九條 本市(町村)内ニ住居シ左記各號ノ一ニ該當スルモノハ本館所藏ノ圖書ヲ携出スルコトヲ得

- 一 官公吏、學校職員又ハ他ノ公職ニアル者
 - 二 優待券ヲ有スル者
 - 三 直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル成年者
 - 四 前三項ノ資格ヲ有スル者ヲ保證人ニ定メタル者
- 第二十條 本館所藏ノ圖書ヲ携出借覽セントスル者ハ圖書携出券ノ交付ヲ請求スヘ

- 第二十一條 圖書携出券ノ交付ヲ請求セントスル者ハ第二號書式ノ證書ヲ添ヘ第一號書式ノ願書ヲ館長ニ差出スヘシ但第十九條第四號ニ該當スル者ハ證書ニ代フルニ第三號書式ノ保證書ヲ以テスヘシ
 - 第二十二條 圖書携出券ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ起算シ滿一ケ年トス
 - 第二十三條 圖書携出券ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ館長ニ届出テ再渡ヲ請求スヘシ
 - 第二十四條 携出閱覽者携出券交付當時ノ資格ヲ喪失シタルトキハ其ノ携出券ハ之ヲ無効トス携出券無効トナリタルトキハ借覽圖書ト共ニ直ニ之ヲ返納スヘシ
 - 第二十五條 携出シ得ヘキ圖書ハ携出圖書目錄登載ノモノニ限ル但目錄登載ノ圖書ト雖モ本館ノ都合ニ依リ携出ヲ許可セサルコトアルヘシ
 - 第二十六條 圖書ヲ携出シ又ハ之ヲ返納セントスルトキハ優待券又ハ携出券ヲ係員ニ差出スヘシ
- 圖書携出ニ際シテハ携出閱覽票ニ左記事項ヲ記入捺印スヘシ
- 一 氏名住所職業
 - 一 圖書名、著者名、函號、番號、冊數
 - 一 携出年月日返納年月日

巡廻書庫

- 第二十七條 同時ニ携出シ得ヘキ圖書冊數ハ二種又ハ三冊以内トス
 - 第二十八條 圖書ノ携出期間ハ十日以内トス但本館ノ都合ニ依リ期間内ト雖モ返納セシムルコトアルヘシ
 - 第二十九條 圖書携出券及優待券ハ記名本人ニ限り有効トス
 - 第三十條 携出圖書ノ返納ヲ怠リ又ハ前條ノ規定ニ違反シタル者ハ爾後圖書携出券優待券ハ之ヲ無効トシ直ニ之ヲ返納セシム
- 第六章 巡回書庫**
- 第三十一條 巡廻書庫ヲ設ケ公立圖書館、學校及其ノ他管理確實ト認メタル私立圖書館又ハ青年團體等ニ廻付シ閱覽ノ便ニ供スルコトアルヘシ
 - 前項ノ學校圖書館又ハ團體等ニ於テ巡廻書庫ノ廻付ヲ受ケントスルトキハ其ノ旨本館ニ請求スヘシ
 - 第三十二條 巡廻書庫ノ使用期間ハ廻付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三箇月以内トス
 - 第三十三條 巡廻書庫ノ廻付ニ要スル費用ハ廻付ヲ受ケタル學校圖書館又ハ團體ノ負擔トス但時宜ニ依リ館費ヲ以テ支辨スルコトアルヘシ
 - 第三十四條 巡廻書庫ハ廻付ヲ受ケタル學校長又ハ圖書館長又ハ團長ニ於テ責任ヲ以テ之ヲ管理シ閱覽ノ成績ハ之ヲ本館ニ報告スヘシ
 - 第三十五條 巡廻書庫ノ閱覽人ニシテ圖書ヲ亡失毀損シタルトキハ當該管理者ハ第

八條ニ依リテ之ヲ處分スヘシ

第三十六條 巡迴書庫取扱手續ハ大正三年四月熊本縣告示第四百四十六號ニ準シ館長

ニ於テ簡易ヲ旨トシ適宜之ヲ定ムヘシ

一 職員職務規程

第一條 圖書館ニハ地方ノ情況ニヨリ左記職員ヲ置ク

館長

司書

書記

第二條 館長ハ特別ノ規定アルモノノ外本規程ニ依リ其ノ職務ヲ執行スヘシ

第三條 館長ハ上司ノ指揮ヲ受ケ館務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

第四條 司書ハ館長ノ命ヲ受ケ圖書記録ニ關スル事務ニ従事ス

第五條 書記ハ館長ノ命ヲ受ケ閱覽、庶務、會計ニ關スル事務ニ従事ス

第六條 館長ハ左記事項ニ就キ上司ニ意見ヲ内申スルコトヲ得

一 圖書館々則ノ設定及改廢

二 職員ノ進退賞罰

三 圖書館ノ利害ニ關スルコト

第七條 左記事項ハ上司ノ認可ヲ受ケテ之ヲ施行スヘシ

一 臨時休暇

二 職員ノ願伺(輕易ナルモノヲ除ク)

第八條 館長事故アルトキハ司書其ノ職務ヲ代理ス

(第一號書式)

携出券交付願

私儀貴館ノ圖書携出閱覽致度候ニ付携出券御交付相成度別紙證書(保證書)印鑑及

携出閱覽料相添此段相願候也

住所族籍職業

年月日

氏

生年月日

館長宛

(第二號書式)

印紙 證書

私儀貴館ノ圖書携出閱覽御許可相成候ニ付テハ貴館規則ヲ確守可致携出圖書ヲ亡失汚損シタル場合ハ御指示ニ從ヒ直ニ辨償可致候也

住所族籍職業

市町村立
小學校教
員加俸給
與規程

(第三號書式)

年月日

氏

一七八

名 生年月日

右者直接國納年額參圓以上ヲ納ムル者ニ相違無之候也

年月日

市町村長 氏

名

印紙 保證書

住所族籍職業

氏

名

右者貴館ノ圖書携出閱覽御許可相成候處貴館規則ヲ遵守爲致ハ勿論携出圖書ノ亡失又ハ汚損ニツキテハ御指示ニ從ヒ拙者ニ於テ辨償可致候也

年月日

保證人 氏

名 生年月日

館長宛

右保證人ハ直接國稅年額參圓以上ヲ納ムル者ニ相違無之候也

年月日

市町村長 氏

名

市町村立小學校教員加俸給與規程(明治四十五年二月二日)

第一條 市町村立小學校教員加俸令ニ依リ支給スヘキ加俸額ハ左表ニ依ル但各種加俸額共加俸令第三條及第七條規定ノ最高額マテテ特ニ支給スルコトアルヘシ

種別	加俸令第三條第二項 本文ニ依ル加俸	加俸令第三條第二項 但書ニ依ル增加加俸
本科正教員	甲 六拾圓 乙 參拾圓	貳拾四圓
專科正教員	八圓	貳圓
准教員	八圓	貳圓

(第二號表) 特別加俸

加俸令第七條第一項ニ依ル加俸	加俸令第七條第二項ニ依ル加俸	加俸令第七條第三項ニ依ル加俸	加俸令第七條第四項ニ依ル加俸
甲 參拾六圓 乙 參拾圓	甲 參拾圓 乙 拾八圓	甲 參拾圓 乙 拾八圓	甲 拾五圓 乙 九圓
本科正教員	專科正教員	准教員	准教員
甲 參拾六圓 乙 參拾圓	甲 參拾圓 乙 拾八圓	甲 拾五圓 乙 九圓	甲 拾八圓 乙 九圓

一七九

第二條 僻陬地トシテ別ニ指定シタル學校ニ勤務スル者ニハ加俸令第七條第二項ニ依リ特別加俸ヲ給ス

第三條 加俸ハ其ノ金額ヲ二分シ毎年十月及四月ニ其ノ前月迄ノ分ヲ支給ス但退職ヲ命セラレ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ加俸ヲ受クルノ權利ヲ失ヒタルトキハ期月ニ拘ハラス其ノ月分迄ノ金額ヲ支給ス

休職者ニシテ俸給ヲ受クル者ニ對シテハ休職ヲ命セラレタル翌月ヨリ其休職中本人ノ有スル年功加俸又ハ特別加俸ノ三分ノ一ヲ支給ス

第四條 年功加俸ノ支給減給及停止ハ發令ノ翌月ヨリ特別加俸ノ支給ハ事由ノ生シタル當月ヨリ計算ス

第五條 加俸令第七條第一項乃至第三項ニ依ル加俸支給ノ事由變更シタル爲メ其ノ支給額異リタルトキハ其ノ月分ノ支給ハ多キ額ニ依ル

附 則

第六條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年縣令第四十一號市町村立小學校教員加俸給與ニ關スル細則ハ之ヲ廢止ス

第七條 本規程施行ノ際現ニ左表上欄ノ加俸ヲ受クル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ各其ノ相當下欄ノ加俸ヲ受クルモノトス

事 項		現 加 俸 額		改 正 加 俸 額	
本科正教員	四拾貳圓	參拾圓	(加俸令第三條第二項本文ノ加俸)及(加俸令第三條第二項但書ノ加俸)	參拾圓	
專科正教員	貳拾八圓	拾八圓	(加俸令第三條第二項本文ノ加俸)及(加俸令第三條第二項但書ノ加俸)	拾八圓	
准教員	參拾圓	拾貳圓	(加俸令第三條第二項本文ノ加俸)及(加俸令第三條第二項但書ノ加俸)	拾貳圓	
同	拾八圓	拾八圓		拾八圓	
加俸令第七條第一項ニ依ル加俸	參拾六圓	參拾六圓		參拾六圓	
同	參拾四圓又ハ	參拾圓		參拾圓	
加俸令第七條第二項ニ依ル加俸	拾八圓	拾八圓		拾八圓	
加俸令第七條第三項ニ依ル加俸	拾八圓	參拾圓		參拾圓	